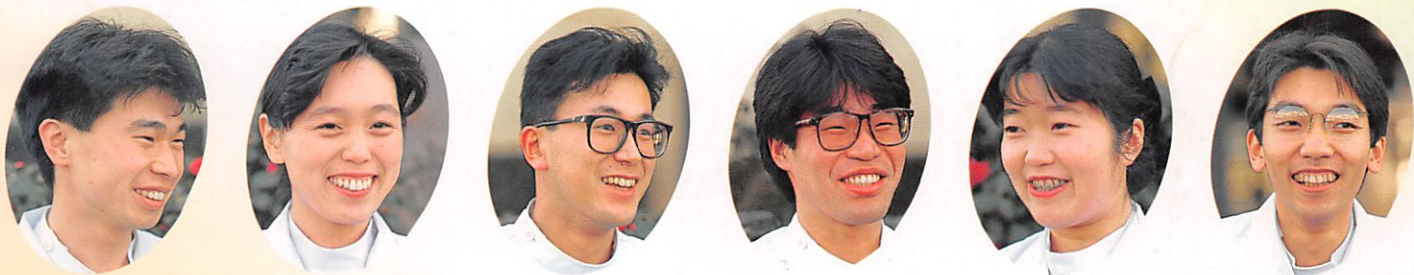


ZOOM UP



1991. No. 74



歯界展望

1年中で最も多忙な受験期も終わりホッと一息ついたばかりの加納学長。

まずは終わったばかりの、近年の医学と歯学の新入学生の相違点について語っていただく。

「当校では毎年新生にアンケートをとっているんですが、昨年までは歯科入学者は、自分は歯科医師を志し、官立で最も古い伝統をもち、かつ最先端をゆく歯科医療を学べることから、当校を第一志望とし入学した、という学生が殆どでした。が、医科系は残念ながら東京にあるから、自宅から通えるからと



東京医科歯科大学長

加納六郎

云う学生が多い。こうした回答から見ると、歯学科の学生は、はっきりした目的意識をもって本学へ入学し、目標を持って努力している姿が見られます。将来への自信と夢を持っていると云えますね。」歯切れ良く、しかも丁寧にキチッとお話し下さる。

——現在、歯科医療の三大問題とも云える医師過剰、保険制度のあり方、医療事故に対してのお考えは？「医師と同様、現在は歯科医師も学生の定員削減を行っておりますし、もちろん新設校は認めておりません。人口10万人に対し50人が適正という方針で大学を増やしましたが、現況を見ますと、過疎地帯や無医村は、いくら医師数を増やしても以前のまゝで、都会地ばかりが過密になるということです。国の希望と医師の気持ちが一致しない結果ですね。また、卒業生も医師同様ますます勤務医志向の傾向にあります。このこと

は、開業には『まず資金がかかる』『その割には収入が多くない』『自由は少ないが責任は大きく、特に医療事故が起こった場合の対処が恐ろしい』等などがあげられます。その良否は一概には云えませんが、こうした傾向はますます顕著になっていくことは確かでしょうね」「第2の、現在の保険制度の中身をみますと矯正と補綴が一番大きな問題点があるように思われます。まず矯正は一部の例外——例えば唇顎口蓋裂、顎変形症等の難症以外は保険が認められておりませんね。しかし、人間の顔からくるイメージは就職や結婚など、本人の一生を決める場合に、その大切な要素の一つであることはご存知の筈です。命に関連していないからと認めないのは、国際社会化されつつある現在では改正されるべきだと考えます。また、補綴においては、金などの材料を使うと技術科までも保険がきかぬとは…。金そのものにも、腐蝕しにくい、丈夫、薄くのびる等の各種の利点があるのです。それを使ったから保険がきかぬ。ましてや技術科までは、合点がいきません。」とキッパリ。

第3の医療事故。「高齢化社会に入り、患者が他の病気を同時に抱えている場合が増えてきております。本学でも小児、障害者、高齢者とそれぞれの歯科の講座と専門の診療部を置き、経験豊富な専門医が対処しております。今後はそうした各専門が、講座の壁を取り外した、全人的歯科医療と歯科理工学と共同して最先端の歯科医療の開発に努める時代に入っていると思います」。歯科医が単なる歯の治療者であってはならない。云われ続けていることであるが、医・歯両学部を持つ大学の学長だけに説得力がある。

お生まれ、育ちとも東京。医師を志された理由は「小さな頃から動植物が好きで、本当は動物学者になりたかったんですよ。しかし当時は戦時下であり、軍医が足りないと云われていたことと、兄が外科医をやっていたので、動物は後回しにし、とにかく医学をやっておいた方が良からうと…。卒後はほとんど学内生活ですが、戦時中、兄が医療団の院長をやっていたことから多忙で閉院中の医院を私が預かりましたので、開業の経験もあるんですよ(笑)」。

——いま医師として最も大切なことは「昔は医大への入学はやさしかったのです。それだけにどうしても医者になりたい人だけが入っ

てきました。しかし今は試験が難しいし、偏差値をもとに、高校や予備校が志望校をわりふっているのが現状ですので、本当に医者になりたい人が落ち、不適正者が入ってくる場合が多いのです。卒業生の内80%が臨床家になることから、目的意識をしっかり持った患者と家族の気持ちがわかる医者、そうした人が必要ですし、欲しいのですが…。試験制度が残念ながらちょっと歪められている。そう思いますね」。

——先生も患者のお一人であられるわけですが、その患者の立場に立っての歯科医療をどう思われますか？「そうですね。歯を治してもらおうと思うとすぐ頭に浮かぶことは、高い、痛い、待たされる、ということですね(笑)。しかしこれも、高いは、一部改善されつつあるように、今後も時代に沿った保険制度の導入を強く訴えて行く必要があります」。

痛い、昔を知っている人ならタービンの回転数や麻酔技術の進歩で、各段に楽になりました。今後は更に素晴らしい機器も開発され、いずれ解決されることと思います。また、待たされるは、情報処理システムや先の機器の発達により、事前・事後の処理も能率化され改善されていくことと思います。しかし以上の3点は患者にとって、本当のことを云うとまだまだ切実な問題であることは確かです。歯科医療の発展の為にぜひ解決して頂きたいものです」。医歯系大学の学長であるだけに、問題解決の方向も両者の立場からお話しされる。今年71才を迎えられるが、写真でもおわかりのように驚くほど若い。日本の医療のために医歯両者の立場に立って、まだまだご活躍されて欲しい方である。

●略歴

大正9年7月 東京牛込に生まれる
昭和20年3月 千葉医科大学卒業
昭和20年4月 陸軍々医学校乙種学生
昭和20年9月 日本医療団伊勢崎病院外科勤務
昭和21年12月 東京慈恵会医科大学助手(病理学)
昭和23年1月 東京大学傳染病研究所技官(寄生虫学)
昭和26年3月 医学博士(東京大学)
昭和27年1月 東京医科歯科大学講師(医動物学)
昭和29年8月 同 上 助教授(農村医学)
昭和32年1月 同 上 教授(公衆衛生学)
昭和38年4月 同 上 教授(医動物学)
昭和52年8月 同 上 医学部長
昭和60年8月 東京医科歯科大学長 現在に至る

◇
昭和32年4月 日本寄生虫学会評議員 現在に至る
昭和32年4月 日本衛生学会評議員
昭和32年4月 日本熱帯医学会評議員 現在に至る
昭和47年、55年、59年の各1年 日本衛生動物学会会長
昭和52年8月 文部省学術審議会専門委員 現在に至る
昭和60年8月 国立大学協会監事 現在に至る
昭和60年8月 日本育英会監事 現在に至る

わが校を語る

岡山大学 歯学部

歯学部長

足立 明



■プロフィール

昭和8年3月 東京に生まれる
昭和34年3月 大阪大学歯学部卒業
昭和34年9月 大阪大学歯学部助手
昭和44年2月 大阪大学医学部助手
昭和47年7月 新潟大学医学部助教授
昭和50年10月 金沢医科大学歯学研究所教授
昭和55年4月 岡山大学歯学部教授
昭和57年4月 岡山大学評議員(併任)(~昭和59年4月まで)
平成2年4月 岡山大学歯学部長 現在に至る

昭和54年10月、国の歯科医師増員計画にともなって設立された岡山大学歯学部は、駅前を南北に走る大通りを7~8分、左に折れた住宅街の中に、医学部と隣接されて建っていた。地下1階地上11階建てのビル内部は1~3階までを、主として歯科診療室に、4~11階までを各講座・講義室・実習室に使用されている。

現学生数434名。巣立って行かれた歯科医師数は、新設まもない学部ゆえ、372名と少ないが、県下に開業されている歯科医師と大学をつなぐパイプ役、また周辺住民・臨床医の良き相談相手の要となり活躍されているようだ。

お会いした足立歯学部長。大学ではいま卒業・入学と最も多忙な時期ゆえ、全く準備不足だと云われながらも、大学と現在の歯科医療界の問題点等を、ご自身の歩まれた道をかためながら、ザックバランに語っていただいた。

「当大学は、医学部の歴史は古いのですが、歯学部は国立では一番若い大学の一つです。しかし研究設備や施設、また人材も優秀な方々が揃っていて、他大学と比べても孫色はありません。また、地元の県歯・市歯科医師会との交流も活発で、非常にうまくいっております。歯科大卒業生には、現在卒後研修制度が採り入れられているとは云うものの、大学での受入れ数には限度があり、国の思うようには行っておりません。そうした現状下では地元の歯科医師会の方々とお互いに協力しつつ個々の会員の質の向上を高めていく努力は不可欠です。大学があることによって生みだされるメリットを、相互に利用し合う。当大学では、その点生涯を通じて日進月歩の歯科医療に準じた教育、設備を配し、県下の臨床医に活用して戴いております。そういった意味で大学のない県では、他の手立てを考えていかなければなりません。今後も地元の歯科医師の向上に役立って行きたい。そう考えております。」

お生まれは東京。がすぐに京都府福知山に越され18才まで育つ。大阪大学歯学部に進み、昭和34年卒業。ご専門は口腔生理学。

「歯科医としては地味な学問でしたが、父もサラリーマンでしたので、家を継ぐ必要もないことから、好きな学問にと生理学を選びました。医科においては昔から解剖学と共に2つの基礎をなす重要な学問とされていましたが、歯科は技術優先のためか、なかったんですよ。歯を治すのに生体の仕組みなどどうでも良かったのかナ(笑)」。でも生理学という、時々間違えられるんですよ、と冗談を交えながら…。「当時阪大におられた河村洋二郎先生から生理学の重要性を教えられ、感銘を受けたことを今でも憶えています。「近年の歯科医学ではこうしたことの大切さ——口の機能が顎の発達を促し、更に頭脳にも大きな影響を及ぼします。こうしたことが解明されて来ると共に、口は単に物を咀嚼するところだけではなく、身体全体に大きな影響を与える器管であることが、徐々にではありますが国民にも認識されることと思います。今後も重要な研究テーマとなりますね」。

阪大卒業後、河村研究室から米国に留学。「米国では偶然新潟大学の教授であられた新島旭先生とお会いしまして、私が勉強していた、味覚に加えて、先生のご専門の内臓感覚の研究を共にしました。それが縁となり、帰国後新潟大学医学部の助教授として赴任することになりました。そこで今度は、味覚から内部環境の変化に伴って変わる内臓感覚の研究を。人間関係の繋がりと面白いですね。と同時に私は良き恩師、友人に恵まれたと、今でもつくづく思いますよ」。歯科医師としてのご自身は？「そんな訳で、歯科医師の免許は取得したものの、臨床は学生時代の実習以外ほとんどやった経験はありません。笑い話になりますが、ある時患者さんが、歯学部長に歯を治してもらいたい、と云って来たんですよ。ヨシ!と思ったが、病院長に、それだけはやめてくれ、と云われましてねー」と笑われる。——巣立つ学生に話されることは？「歯科医師は確かに技術が重要な部分を占める職業ですが、それだけに偏重せず、その前に科学者であることを忘れないでほしい、と話します。一般教養を含め、6年間にわた

って勉強したのですから、単に歯を治す技術者として生きたらいけません。医師としての科学の目。それには生体の仕組みや基本、また自身の専門をキチッと勉強した後、臨床家に戻っても無駄にはなりません。ま



たその研究に基づいて患者さんに話をすれば、説得力も違ってきますし、信頼感も違ってきます。長い将来のために、単に目先だけを追わず、歯科医師として、じっくり自身を磨いていってほしいと思います。

——近年国家試験に実地がなくなったことについては？「私は専門家ではありませんので詳しくはわかりませんが、多分医科ではなくなったからと、歯科でもなくしたのではないかと思います。が国立大学では最終学年にかなり臨床実習をやっておりますから、国立の卒業生には実施を課してもよいのでは、と思います。名ばかりに近い現在の研修制度の導入下では、国家試験に通ったものの、治療はわからず、と云った歯科医が増えてくるのでは…。

——歯科医療の将来性については？「未曾有の高齢化社会を迎えて、豊かな老後を願う人々が益々多くなって来ます。人間年をとれば、行きつくところは食気のみとなります。ただ長生きするだけなら歯を失っても生きられると思いますが、それでは誰もむなしいですよ。その責任を担う歯科医という職業。将来を悲観視することは全くありません。最も私は先に云いましたように専門ではありませんので(笑)。

——現代学生気質については？「本質的にはあまり変わらないのではないですか。我々の時代にも内容は違って遊ぶ人は遊んだし…。ただ、親離れしない子が多いと云うか、甘ったれた子が多いですね。これも見方を変えれば、子供が少なくなったことから、親が子離れしなくなったとも云えます。ただし、こと勉強に関しては優秀な生徒が増えてますよ」。

ご経歴が示すように、医・歯両部門の教官として長年経験を積まれたご様子。それだけに岡大医学部との交流も深く、ご自身も講義に向向かれるとのこと。総合大学のメリットを相互にフル活用することによって、歯科大生を大きく、巾のある歯科医師として育てたい、という意気込みが伝わってくる。

恵まれた大学の…。今年58才になられるバイタリティー溢れる学部長である。

社団法人 大分県歯科医師会

会 長：吉村 益見
 副 会 長：古川三千雄
 副 会 長：柴崎 哲
 副 会 長：牧 雅保
 専務理事：杉山 正之
 常務理事：園田 秀明
 常務理事：糸瀬 勝成
 理 事：筑紫 隆生
 理 事：近藤 俊彦
 理 事：岩男健一郎
 理 事：大谷 芳憲
 理 事：福原 毅
 理 事：沢宮 昌孝
 理 事：中島 知範

大分駅より車で約10分。静かな住宅街の中に、ひときわ目立つ4階建の大分県歯科医師会館。県民120万人の歯の健康を守る殿堂にふさわしいビルである。

内部をザッとご紹介すると、1階はメインロビー、県歯、市歯会の事務室、国保事務室、役員室、図書室等。2階は会議室、研修室、口腔衛生センター。3階～4階は故中原実元日歯会々長の緞帳が舞台に下がる大講堂となっている。

7時から始まる会議に先立って、会長外4名の役員の先生方から、県歯会の活躍状況、方向、悩み等語っていただいた。和気アアイの雰囲気、時々冗談も交じる明るい役員の方々のお話しに、予定の時間を大分オーバーしてしまった。

半程前に会長に就任しましたが、とにかく今は会員の意見を吸いあげ、相互の「融和」を計ること。短期間では無理ですから、徐々に推し進め、3年間で完成まで持って行きたい、そう思っております。また、現在国が提唱しております「8020運動」も衛生委員会が「健やかな歯でいつまでも」という、やさしく歯の症例や解説を載せたパンフレットを作成、配布しており、皆さんに喜んでもらえる良い方向に向かっております。ただ、各種ある事業計画も種々の問題から、予算が充分にとれず、苦しい状況にあります。会員もまた苦しんでいることから、会費の値上げを見送り乏しくとも、共に乗り越えようと各委員会とも懸命に努力中です。

専務理事／杉山正之



杉山：過去は保険による応納割が自然増収の形で会に入って参りましたが、去年は7億減、今年は更に減ることが予想されます。こうした状況は会員ももちろんそうですが、県民の口腔衛生啓蒙活動等にどのような影響を及ぼして行くのか。活動の後退につながって行かぬばよいがと心配しております。

副会長／牧雅保



牧：いま保険委員会が中心となって「保険診療の手引」と題した540ページぐらいの手引き書を作成中です。カルテ、明細書の標準的な書き方を初めとして各症例まで掲載し、解説されておりますから、これはどの県にも負けない立派で役立つ本だと自負しております。特に若い会員の方々は大学でもそこらあたりまでは教わらずに開業されるでしょうから、特に役

会 長／吉村益見



吉村：現在県民120万人強を病院や勤務医を除く会員590人がカバーしております。単なる人口比率では平均的な人数ですが、市部、特に大分市や別府市、中津市などは、開業医が集中しておりますので、厳しい状況下に入っております。私は1年



立つものと思われます。掲載内容も、その都度、保険課から承認を取りましたので、大変手間もかかりましたが、やっと出来上がります。定価は実費のみで約12,000円位です。いかがですか(笑)。



副会長／柴崎 哲

柴崎：福利厚生として現在65才になった会員の方々に「寿会」と称して夫婦で旅行会に招待したり、また毎年1月には共済記念祝典及び表彰式並びに新年互礼会を開催し、共済見舞金として会員20年目に15万円、30年目に15万円を会員としての長年の慰労をこめて出しております。この記念祝典には県知事、代議士など、行政関係者にもご出席いただき、本会との理解を計ると共に、より良い関係を深める努力をしております。



副会長／古川 三千雄

古川：その他、県下会員あげての記念事業として地元中津歯科医師会が中心となって、郷土が生んだ歯科界の先達「小幡英之助」先生を偲んで毎年5月に歯科祭を開いていることです。ご存知のように先生は、日本の歯科医師免許取得第一番目の方であると共に、町医として初めて専門の歯科医院を開いた方です。昔なら全国におられる先生方で知らない方はいないでしょうが、最近の方々ほどの程度まで(笑)。県下の先生方はもちろんですが、全国の諸先生方も、小幡英之助に関する色々な資料が当県には揃っておりますので、大分に来られた際はぜひ一度訪ねていただきたいと思います。

編集：会長は会員との融和を第一に掲げておられますが、その具体的方法は？

杉山：まず新入会員になられる方に個人面談し、歯科医師としての基本的態度から始まり、患者さんとの対応方法、付近の住民や同業者への配慮、また保険医としての基礎知識等、徹底的に指導・教育をしております。これは会として歯科医師1人1人の内情や考え方を把握して、その要望、また会の方針・方向を掴んでいただくためです。また、今県下には15の支部がありますが、年に1回は役員との懇親の機会がありますので、お酒などを飲みながらお互いの考え方、相談ごと、今後の方向などを話し合います。

牧：その他会員の福祉大会として、囲碁、ボウリング、ソフトボール大会等々各自の趣味に合わせ開催しておりますが、その前夜祭には一同で大パーティーを開きますから、そういった際にも色々な話が会員の中から出て、会長の云われる「融和第一」に役立っているようです。

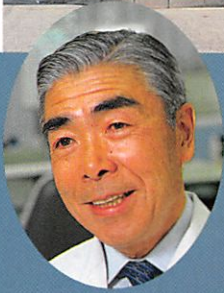
柴崎：これは歯科会員間の融和ではないんですが、年度始めに衛生士会、技工士会のそれぞれの役員の方達と会合を開いております。よく出るそれぞれの要望は、

我々からは「会(技工・衛生士会)に入っている方の名前を知りたい」ということ。双方からは「スタッフの方に会に入るよう勧めてほしい」ということですね。今後もデンタルチームとしてお互に融和を計り、共に向上していくことが大切だと思います。

古川：会長を始めとして、役員もそうした努力は常時図るようになっておりますので、大分県全体の会員の融和は非常にうまくいっていると確信しております。こうした心が全国的に統一され、日歯、ひいては国の行政側に強く訴えかける力を得れば、現在私達が抱えている諸問題も解決の道が開けていくものと思います。

吉村：そうですね。県レベルでは行政側ともうまくいっておりますから、この形を国の行政レベルへも。日歯の会長に私達代議員も協力すると共に、今後の歯科医療界を背負う若い方達が、希望と誇りを持って日々の仕事に打ち込めるよう渾身で努力する。これが私達役員の務めだと考えております。





三宅歯科医院 (医療法人 博英会)

東京都中央区日本橋室町4-2-10 坂田ビル3階

院長 三宅直晴





地下鉄三越駅前とJR神田駅のはぐ中間角地、中央通りに診療所をオープンされて25年余り。付近は、以前は三井関係各社や薬品会社が主流を占める土地柄であったが、近年はビルも大型化し、各種の大会社がオフィスを構える街に変貌しつつある。

ご紹介の三宅歯科医院は、ご先代が大正13年にこの地に開業されたと云われるから、「きょうは帝劇、あすは三越」と云われた文字通り大正デモクラシーの最先端をゆく、モダンなお父様であったことは間違いなさそうだ。お会いした院長もご趣味はヨットで、週末は海で過ごされる、と云われるだけあって、シラガは多少あるものの、64才とは思えぬ若々しさ。容貌も浅黒くひきしまっている。

院長は昭和23年東京歯科医専を卒業。同大補綴学教室を経て慶応大学医学部歯科学教室に移り講師をされていたが、32年お父様が病気で倒れられ、急きよ後を継ぎ、現在に至っている。

待合室は薄茶の床に、ベージュのソファが7脚。受付は木目の簡易式オープンスタイル。診療室は床はアイボリー、角地に建つビル故、両面からの採光も充分。窓に沿ってくスマイリーファインL型が8台。濃淡のツートングレーが、オフィス街の診療室に似合っている。医局員の皆さんも、オフィスで働く人々の気質の対応をよく心得ているようで明るくサラットとしていて気持ちいい。

Q：この辺りもずい分変わって来ましたが、院長のご開業当時は？

院長：父がこのすぐ近くに開業しておりました後を引き継ぎましたが、このビルが建ちましたので昭和40年頃引っ越しました。当時は冷暖房、エレベータ付の9階建はこの辺りではめずらしかったし、歯科医でビル開業している人も比較的少なかったですね。

Q：院長は卒業後10年近く東歯大や慶応大学医学部歯科に残り、勤務医のご経験をお持ちですが、やはり一人前になるにはその位の勉強期間は必要と思われませんか？

院長：本人の勉強や中身にもよるでしょうが、最低5年、じっくり将来を考えれば7～8年は必要でしょうね。開業した以上、わからない、知らないでは通用しませんし、適当な治療は信用も失うし、第一患者さんに申しわけないですよ。

Q：長い診療生活、巣立っていかれた先生方も多いことでしょうね。

院長：え、50人位になりますか。大学も母校ばかりでなく色々な大学から入ってきておりますよ。

Q：大学による特徴はありますか？

院長：目立った特徴はあまり感じませんが、新設校と云われる大学の卒業生の方々のなかに、意欲的というか、バイタリティーがある人が多いように感じますね。もともと人によりけりで一概には云えませんが…。

Q：面接にあたって感じられることは…。

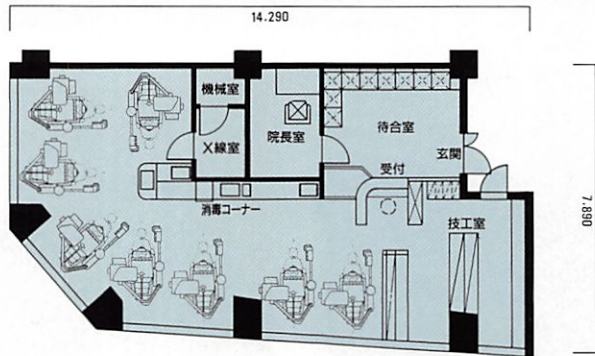
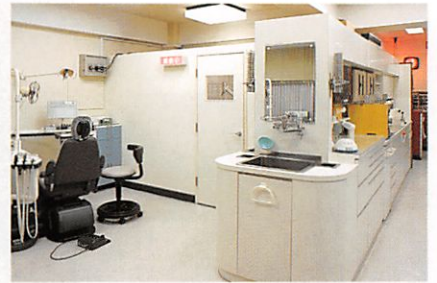
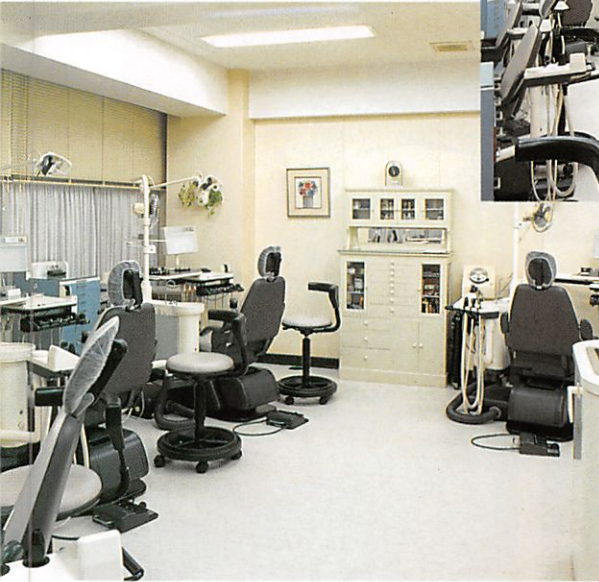
院長：ある時、卒業2年位の人から受けた質問ですが、「こゝではインプラントやコーススほどの程度やりますか？」と聞かれました。逆にあなたは？と質問すると「インプラントやフルマウスのコーススを何例かやりました」と云うのです。本当に院長がやって良いと云ったのか、と驚かされましたね。コーススにしてもインプラントにしても一般的な補綴や保存その他を充分熟知してからやるべきテクニックであると思うし、いいかげんな経験や知識では、後々医療事故にもつながり、ひいては信用を失うもとにもなりかねません。難かしいもの、より高度なものに挑戦しようという意欲はおおいに買うのですが。

Q：スタッフ教育については？

院長：原則として隔週1回。個々が読んだ論文等の中から、これは、と思うものを抜粋して唱読会やディスカッションをやっています。また、講習会へも時間の許すかぎり出席させるようにしております。

Q：近年、歯科医院に大切な衛生士や技工士が足りなくなって来ていると云われます。それ等については？

院長：確かにそうですね。以前は毎年2,000人の技工士が巣立っていきましたが、今は700人位しか出ないそうです。技工士に見切りをつけて他業種に入ってしまった人達には優秀な人もずい分いると思います。私は補綴が専門ですので、その思いが強いのか



も知れませんが、原因はやはり保険診療における危機的とも呼べる状況です。補綴技術に対する評価が低すぎますよ。また、歯科医も昔と違って、技工は全くやらず、自分は臨床のみ、という気持が強くなって来ております。たとえ外部に依頼するにしても、患者さんは歯科医院を信用して来るわけですから、技工は知らないし、自分の責任ではないというわけにはいきません。いざとなったら技工作業も総て自身でやるだけの実力をつけること、これが大切ですね。また、我々は先の保険問題にしても、技工士と決して敵対関係にあるものではありません。今は小さな収益を奪い合うようなことなく、お互はパートナーですから、共存の道を考え、行政側に働きかけて行くべきでしょう。このまゝですと、総義歯を我々を含めて技工士もキチッと出来る人がいなくなってしまいますよ。

Q：歯科医として歩まれた40年、いかがですか？

院長：患者さんの喜びが私の喜びとして伝わる仕事であり、この職業を選んで良かったと思いますね。キチッと仕事さえていれば、どんな辺りなところへ越して行っても再来していただけると思います。父の代から数えると、親子5代にわたって当院に来ている患者さんもありますし、うれしいですね。

Q：オサダのスマイリー〈ファイン〉、何故に

選ばれたのですか？

院長：昨年5月改築時に買いましたが、それ以前は総て他社製品でした。実は娘(東歯大卒→慶応病院歯科口腔外科勤務)が帰るにあたり、どうしてもオサダのユニットに変えてくれと云いまして…。私も自分で調べたり、説明を受けて良く出来たユニットだと納得しました。でも驚かされたのは、そのアフターケアの良さですね。以前のメーカーも私なりに悪くないと思っていたんですが、アフターの良さは前から聞いてましたが、まさかこれ程までとは…。この人手不足の時代に…、思わず聞いてしまいましたよ。お宅の社長さんはどんな人なの…

と(笑)。

Q：スタッフは何名で、1日何人位治療されますか？

院長：医師は私を入れて5名。衛生士は6名。技工士1名。受付・助手4名の16名で、患者数は平均80名位ですね。1人最低30分～1時間をかけて治療しますが、私は学校で習ったことを、たとえ時間や材料をかけてもよいから、自分で正しいと思う通りにキチッとやりなさい、と云っています。いい仕事を身につけた優秀な歯科医を育てたい。これが私達先を歩いた人間の務めだと思っています。





藤田歯科医院

京都市下京区東中筋通松原下ル

院長 藤田治義





京都駅より車で4～5分。大通りは基盤目状に整備され、わかりやすい街であるが、一步小路に入ると、車が通るたびに、通行人は家の軒に飛び込まなければならない細い迷路のような路が続く。が見方を変えれば、画一化し、特徴がどんどん消える郡会地であって、瓦屋根、格子戸、間口は狭いが奥行き長い家並みは、日本人の郷愁をさそう。戦災にも合わず、さすが千年の都。勝手な云い分かも知れないが、何時までもこうした雰囲気は残していったほしいものだ。

ご紹介の藤田歯科医院も駅近くでありながら、そうした小路の中に建っている。が写真でもおわかりのように、銀色に輝く5階建の堂々としたビル。院長のお話によると「昨年まで隣の石燈籠や敷石などがあり日本庭園が見渡せる家屋で父が50年余り診療所を開いていたんですが、借地でしたので立ち退きを迫られ、やむを得ずこのビルを…。情緒がないでしょう」と残念そう。

一階駐車場脇から階段を登って玄関へ。

待合室はベージュの床に、天井、壁は白。ライトブルーの椅子がおよそ5脚。受付は木目に上部は曲線のガラスで囲った窓口方式を採用。

診療室も、床、天井、壁とも待合室と同色同材を使用。窓側にブルーとアイボリーのツートンカラーのスマイリーGMとスマイリーNが。ユニット前面には2台の大型アンプと、これまた立派なオーディオセットが設置されている。ビル内部の冷たくなりがちな印象を、各部のスタンドグラスと観葉植物、そしてこ

のや、大き目の音量のBGMで柔らか味を演出している。

約束の時間に間があるので待合室で座っていると…。「ほな、〇〇日の3時でどうです」「すまへんなあー、ありがと！」帰る際はまた診療室をのぞき、「先生、ありがと！」「サイナラ！お大事に」と1人1人が受付や院長に声をかけていく。関東人からながめていると、のんびりゆったりした言葉使いで、これでは喧嘩をしたくとも京都人が相手ではムードも出ない、などによけいなことを考えてしまうが、同時に医院という職業にピッタリな言葉だな、とも思う。

院長は日本歯科大学を卒業後、勤務医として7年程臨床実務を勉強。14年前、お父様のもとに戻られ共に診療生活に入られた。

先の患者さんとの会話でもおわかりのように、スタッフ一同、患者さんとのコミュニケーションも充分で、お互いの信頼関係の良さがわかる。

Q：大学から勤務医生活と、ずい分長かったですね。

院長：卒業後一度実家に戻りましたが、やっぱりお互いに不満が出て…。治療方法の違いもありますし、父も明治の人ですから気骨というか、頑固というか(笑)。外でもっと修業して来いと…。でも6～7年過ぎた頃には、早く帰って来てくれと催促していましたよ。私が帰り、父は早速隠居生活に入りましたが、やっぱり仕事をやめるとダメですねー。すぐ老けこ

んで…。昨年亡くなりましたが、人間出来得る限り、たとえ2人でも3人でも、自分を頼りにしている患者さんがいるという、気持の張りを持って生きることが大切だとつくづく思いましたね。

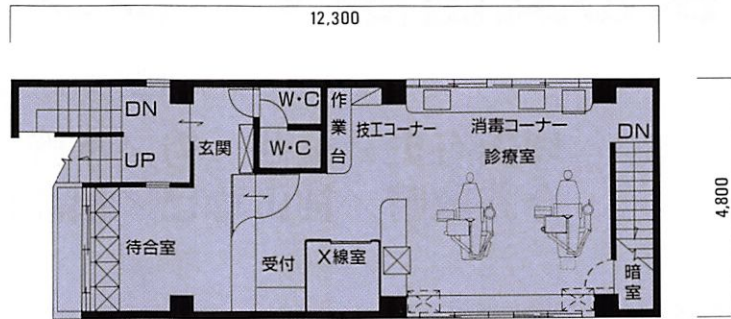
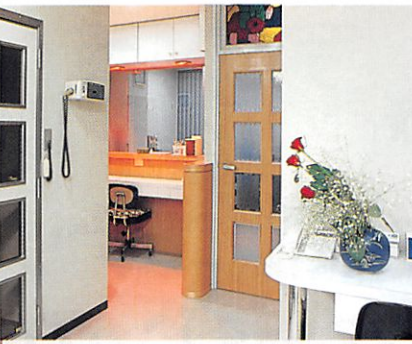
Q：1日どの位の患者数を、何人のスタッフで？

院長：1日40人強位ですね。スタッフは歯科医1名と女性はパート、学生アルバイト共全員で8名いますが、昼間2名、夜2名です。当院は受付係を特別に置かず、全員が交代で担当しております。でも当院に限らず、どこもそうでしょうが、いま歯科医院では女性が集まらず困っているようですね。給料をもっと出せば別でしょうが、保険診療が主体ですと、とてもそうは出せませんし…。学生、パートの主婦で何んとか補っているというのが実状です。

Q：患者層は？

院長：この近くに商店街が多いので、そこで働く方達や付近の住民です。遠方ですと名古屋、神戸、大阪からも来院されますが…。この辺りは昔ながらの家並ですし、土地もありませんので、長男夫婦が家に残ると、他の兄弟は郊外に移っていきます。ですから次第に人口も減ってきておりますし、昼間人口は商店街で働く人がおりますので多いが、夜間人口は極端に少なくなってきております。

Q：遠方からの患者さん、何故わざわざと思われませんか？



院長：いやー。私自身もわからないんですよ(笑)。口込みや紹介が多いんですが、わざわざ高い電車賃を使って来てくれる患者さん。私も誠心誠意治療をしますが、やはりうれしいですね。人当たりの柔らかかさかな(笑)。

Q：一般と保険、どちらが多いですか？

院長：都会地ですが、京都は保険診療が圧倒的ですね。私も相手が望まない限り総て保険でやります。東京人と違ってちょっと保守的な感がありますが、それも考え方によれば良さの一つ。住民に溶け込んだ診療を、と心掛けております。ただ、保険点数はここ10年ほとんど上がらず、上がっても雀の涙。人件費や材料費などの上昇率にはとても追いつかない。次第に苦しくなっていますね。

Q：診療方針の基本は？

院長：勤務医時代に院長に云われたのですが、「百の成功より一つの失敗に気をつけろ」と。この言葉が私の頭から消えませんが、ですから特殊な治療—例えば矯正やインプラントなどの注文があれば、それ専門の先生を紹介します。ちょっと消極的かも知れませんが、パイオニア精神があつてこそ、進歩するのですが、私は長く地道にやっていく為に「町の診療所」、これに徹して行きたい、そう思っております。

Q：診療室を作られるにあたって、どんなところにご留意されましたか？

院長：建坪も限られておりましたので、とに

かく明るい雰囲気をと。キャビネットや壁を、初めはもう少しクリームグリーンを入れた色にしようかと思つたし、白は緊張する色と云われておりますが、限られたスペースを明るくする為に…。やっぱり白色になってしまいました。たゞ、ユニット前面に設置したオーディオセットとアンプ、これには凝りました。勤務医時代は治療により貧血を起こした人がいましたが、リラックスするのでしょうか。今は全くありません。500曲程テープを用意し、患者さんによって、それぞれ好みに合わせ選曲します。喜ばれますよ。あとは天井を高くして空間を広く見せるようにしました。

Q：オサダのスマイリー〈GM〉、使い心地はいかがですか？

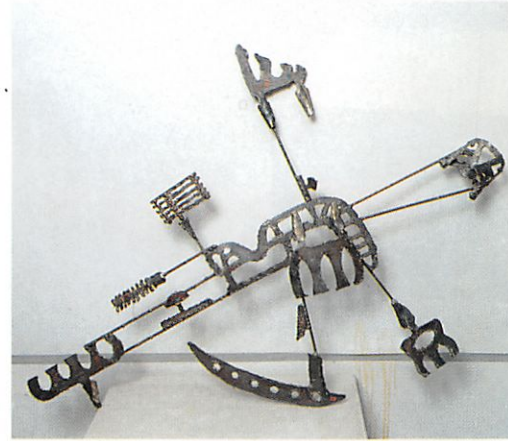
院長：父もそうでしたが、私も以前は他社製品を使っていましたが、故障がはげしい上に、塗装も雑ですぐハゲてくるんですよ。ユニットは3～4年で使い捨て、そう考えているようで…。オサダはアフターケアの良さと、絶えず売った製品を心にかけていてくれるようで、しょっちゅう連絡をくれます。その気持ちがうれしいですね。スマイリー〈GM〉とスマイリー〈N〉を1年間使いましたが、不自由なところは全くありません。診療態型もほとんど術者立位の患者座位診療です。水平診療ですと、ブリッジや冠など重いから、万が一落とすと舌は瞬間的に飲み込んでしまう率が高いんです。先の院長の言葉、ひとつの失敗が…。トラブルだけは絶対に起こすまい、そう思っています。



小嶋歯科クリニック

東京都港区浜松町2-4-1
世界貿易センタービル14階(メディカルセンター内)

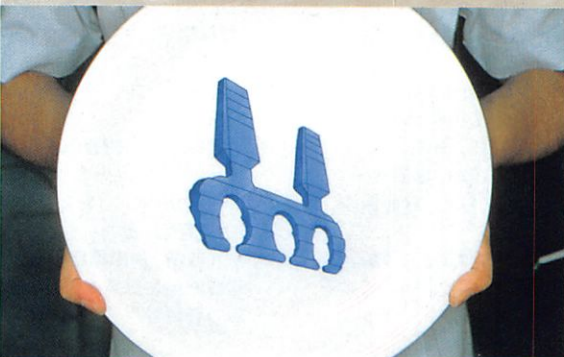
院長 小嶋栄一

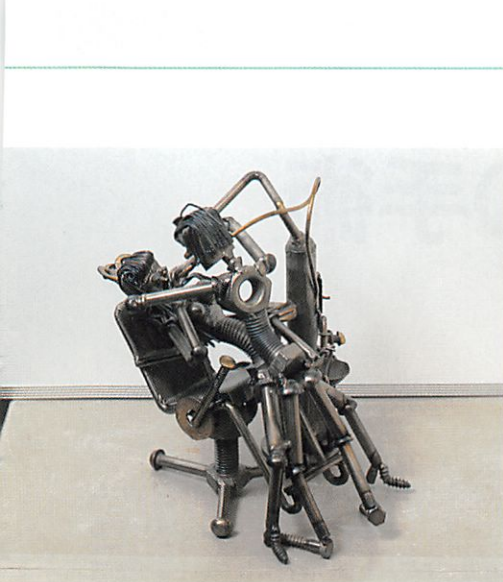


今でこそ東京には数10階のビルがあちこちで見られるようになったが、万博が終わった頃の東京は高くても10～12階のビルが最高であった。そこに出現したのが世界貿易センタービル。文字通り、世界にはばたこうとする日本の象徴ビルとして、当時は国民の耳目を集めた。

小嶋歯科クリニックはこのビルの14階メディカルセンターに昭和45年に開業され既に20年余り。読者の先生方もご存知のように日本を代表するインプラントの大家として、海外にも広くその名が知られている。診療室内には各種の感謝状や認証状と共に読者の先生方にはお分かりでしょうが、写真のような歯科・インプラントに関する置物が、アチコチに置かれている。院長のお話によると、ほとんどが海外の友人、知人による贈り物とか。先生の交友関係の広さがわかると共に、こうした物を作り、友人に配る心の余裕やユーモアセンスを身につけた外国人がうらやましい、という気もする。

院長は昭和37年、日本大学歯学部を卒業。と同時に東大医学部付属病院に口腔外科学研究生として入局、3年余りを過ごす。その後、東京・京橋の村岡歯科医院に新弟子として勤務され、「その時の経験——先生から教えられた咬合理論や歯科医師としてのデンタルフィロソフィーが私のその後の人生を決めた、といっても過言ではありません」といわれる。その後、銀座の金田義夫先生や乙部朱門先生との出会いからインプラントへと。開業4年





目、知識で学んだインプラントをより確かなものにしようと、ニューヨークの五番街で開業しており、世界的な権威者であるDr. リンコーのもとに留学。1年でアメリカ歯科インプラント学会アクティブメンバー試験に合格、翌年には認証されるという、恩師にも恵まれたが、大変な勉強家である。

「私達歯科医の最終目標は『ものがよく噛めること』そのためには失なった歯に『良い入れ歯を提供することです。そのためにいま何をなすべきか？医療には、心臓移植でもそうですが、これで良いという限界はありません。現時点ではこれがベストと云っても、オリンピックの歴史が毎回塗り変えられるように、医療も常に高い水準を目指して進まねばならないのです。しかも我々臨床医は机上の

学問だけでは通用しません。常に相手(患者)の主訴を取り除くと共に満足すべき結果を提供することが役目なのです。インプラントの材料も色々と開発されておりますが、紆余曲折の末、やはりチタンがベストと云われたり、テクニックにしてもスクリュー方式が良いか、ブレード方式が良いか等々。しかしそれも、現在はであって将来はわかりません。私も20年近くインプラントをやっておりますが、一つのことを長く続けると、それなりの道は必ず開けていきます。若い先生方には特にそう望みます」。話し方は決して饒舌ではないが、やさしい笑顔と共に聞く側には暖かい誠意が伝わって来る。

——患者さんの後々の手入れや環境、年齢等によって難しいでしょうが、インプラントは、

どのくらいもつと思われますか？

「以前は5年位と思っていましたが、今は10年以上の症例を多く経験しています。また、何んらかの原因で除去した場合はデンチャーを入れ、症状が治癒したら再びインプラントをします。これは天然歯が取れるのと全く同じで、違いは齶歯でなく歯槽膿漏症になった場合と同じような症状なのです。骨吸収で薄くなった場合でも、骨膜下インプラント、レームスインプラントなども出来るのです」。

——何年位の勉強と何症例位の経験が必要と考えられますか？

「これは何年、何症例とは云えません。まず自分自身に投資することです。講習会を受けてから、それを機会にインプラントを中心とした集まりの会に参加するとか、症例の多い先生の所へ見学に行くとか、またオペがあったら助手をさせてもらうという努力が必要です。そして何より大切なのは、インプラントを行った患者さんには自分の命ある限り、愛情をもって一生お付き合いをさせて頂く、という気持ちですね」。

医療とは何か、一筋に努力するとは…。口で云うのはやさしいが、小嶋先生の結びの言葉と共に、自身の歩みをもう一度振り返ってみたいお話である。



次に小嶋先生が実際治療された症例の一部を〈治療テクニック〉でお知らせ致します。



Z O O M ㄤ C L O S E - U P



荒谷和明先生 の巻

広島市中区大手町2-5-6

広島市を代表する平和記念公園を川一つ隔てたところに建つ荒谷歯科医院。院長の和明氏は広島市歯科医師会前会長、県歯・日歯の代議員としてもご活躍の方。読者の先生方のご存知の方が大勢おられることであろう。

今号は、鹿児島大学歯学部教授・川越昌宜先生のリレーにより、荒谷和明先生をご訪問しました。

院長の祖父にあたる故荒谷靖氏は内科医であると共に、高山歯科医学院(現東京歯科大学)に学び、歯科医療界にご尽力された日本を代表する歯科医師のお1人。また、お父様の龍氏(故)も広島県歯科医師会会長を初め、日歯の代議員・監事を歴任されたという名門の家系。ご本人は「そんな訳で30代の頃から色々な役職をやらされ、勉強の方はおろそかになっていますから、毎号ご登場の先生方のように臨床に役立つお話は出来ませんよ(笑)」とおっしゃるが、阪大から医科歯科大学大学院卒のご経歴が示すように、自他共に認める勉強家であることは確かだ。

それでは、歯科医師600余人を抱える広島市歯科医師会を代表して、いま読者の先生方が最も関心をもたれている●歯科医師過剰問題、●保険診療の行方、●インプラントに代表される最新歯科医療に対する見解について、大局的な立場からお話して頂くことにした。

「広島市は人口約100万人に対して、会員数は600余名。人口比でも1,700人を割り、現在は1,500名に近づきつつあります。地元には歯学部を持っており、国立大学は歯科医師の子弟が比較的少ないことから、当然、住めば都で今後とも増えていくでしょうね。一方、人口は増えませんが、診療時間の延長とかで患者の取り合いになって行くことは予想されますし、会としては最も懸念していることです。会長としての立場からか、言葉を選びながら話されるが、会員の今後を心か

ら心配されている気持ちが伝わってくる。「また、会員もそんな訳で昔のように医院を休診してまで、会の事業に協力したくない、といった人が増えておりますが、保健所や行政官庁からは新規事業の要請も多くなる一方で…。高齢化対策に対する寝たきり老人問題も、いま前向きに取り組もうと準備段階に入っておりますが、実施についてもそれ等は歯科医の犠牲の上に成り立っているようで…。難しい問題を含んでおります」「現在の検診制度にしても、8020運動に代表されるよう『ゆりかごから墓場まで』と提唱するならば、乳幼児、学校保健、企業検診、老人検診とバラバラにせず、一貫した検診をするべきであり、また一方、その中でも最も年齢的に活躍する時期である20~40才台の検診が大企業ならそれなりにやっておりますが、日本経済の土台を支える中小企業では放置されているのが現状です。」と話される。口ではおっしゃらないが、そうした方面——行政側



も動きかけ、それなりの報酬を得られる予算を取り、現在の過剰対策解決の一方法を、と考えておられるのではないかと、思われる。

第2番目の保険制度の中身については「難しいですね。日歯の代議員会でもいつもケンケンゴウゴウです。医科は患者に渡す薬や検査も多く、そうした方面からの差益もあるが、歯科はほとんどない。また、私達役員1人1人にも責任がありますし、直接保険には関係はないんですが、日歯内部の統一ですね。それぞれ意見が異なり、またそれも大切であるとは思いますが、地方から県歯そして中央とパイプを一つにすること。それが地区の段階でバラバラでは…。もちろん一般診療の多い大都市と保険が中心の地方では意見が違うのはむしろ当たり前ですが、お互いを認める立場に立って話す姿勢。全国の歯科医師が一つにまとまり、国に働きかけていく努力をしていかなければなりません。湾岸問題もあ

り、財政的には益々苦しくなっていくと思いますが、このまゝでは…。うがった見方をすれば、厚生省はそれを知っているのではないかとさえ思えます。とにかく全国の歯科医師が意見をひとつにし、大きな力で国に現状を訴える努力を、と願われる。

次は最新の歯科医療について「近年インプラントに代表される歯科治療が患者さんにも伝わり、その施術が盛んに行なわれておりますが、私は以前保険の審査員をやっていたことから、安易な治療によるトラブルを多く見て来ました。それなりの知識と技術、また設備を持った医院ならともかく、生半可な治療は絶対やるべきではない、と思いますし、患者さんに対しても、決してオールマイティーでないことを説明することです。また、近頃は先の過剰問題云々から、若い方が2~3年の経験で開業されます。そしてすぐ相手(患者)の要望を満たそうと、最新のと云われ



る治療をするんです。そしてトラブル…。歯科医師として地道な努力だけが、患者さんの信頼を得ていくのです。目先の収入にこだわるあまり、長い将来をつぶすな! そう云いたいですね」と厳しいお話。しかし、それだけ若い方に期待すると共に、将来の歯科医療界全体を憂慮される気持ちが強いことへの証左でもあろう。若い会員の方々に要望されることは? 「これは社会の風潮や環境にも依るのでしょうが、世の中は権利を主張すれば、それと同じだけの義務もあることを認識して欲しいのです。個人の勝手や乱れが、患者さん、ひいては国民に信頼を失い、それが先の保険問題等にもつながっていくのです。その点を若い方々はぜひ自覚してもらいたいと思っています」。名門出身らしい礼儀正しさ。いままでは公的活動ばかりで…。これからが本格的な勉強ですよ、といわれる、頼もしい60才である。

STUDY GROUP 紹介

日常診療を 楽しくする会

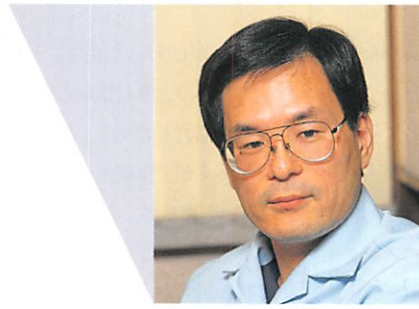
会場/尼崎市杭瀬本町1-18-3
牛島歯科医院内

牛島 宏幸(世話人)
中岡 俊智
山本 卓也
志賀 淳
菊井謙太郎
中西 健一
片岡光太郎
清水谷公成

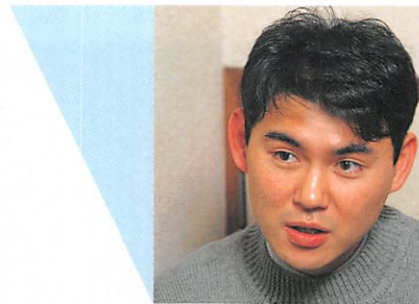
以前は大学6年間で、ほぼ完成といわれた
歯科医師教育が、近年はそれが総てとまでは
云えないが、国家試験に実地がなくなったこ
とから、歯科医師の免許は取得したものの、
臨床の経験はほとんどない、という歯科大卒
業生が増えてきた。その対策として卒後研修
制度が導入されたものの、施設や予算の関係
から全員をカバー出来るのはまだずっと先の
ようだ。実地試験云々の賛否は色々あるでし
ょうが、その狭間にある方達は？

今回のスタディー・グループは、教育者を
除くご出席者6名の内4名までが、学校を巣
立ったばかりの若い方々。良きリーダーを得
て無料で教育を受けておられるが、果たして
こうした現状が正常であるのだろうか？

将来歯科医療界を背負う若い方々の生き
方、悩み等、国民と歯科医師の在り方の、一
つの問題の提起として受けとって頂ければ幸
いです。

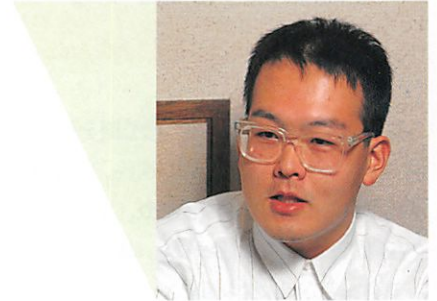


牛島：この会は、昨年3月友人の歯科医に頼
まれ、自然発生的に生まれた会であって、
卒業大学もキャリアもバラバラです。で
すから、勉強内容も高度ではなく、臨床
を中心にした基礎知識をもう一度復習す
ることや、教育された内容と実際の臨床
との相違点を勉強する会です。私もたま
には休みたいのですが、とにかく彼等
の方が熱心で、土曜日の午後になると集ま
って来ますので、結果的に毎週、とい
うことになってしまいます。それだけ将来に
対して不安な気持ちが強いのでしょうか。



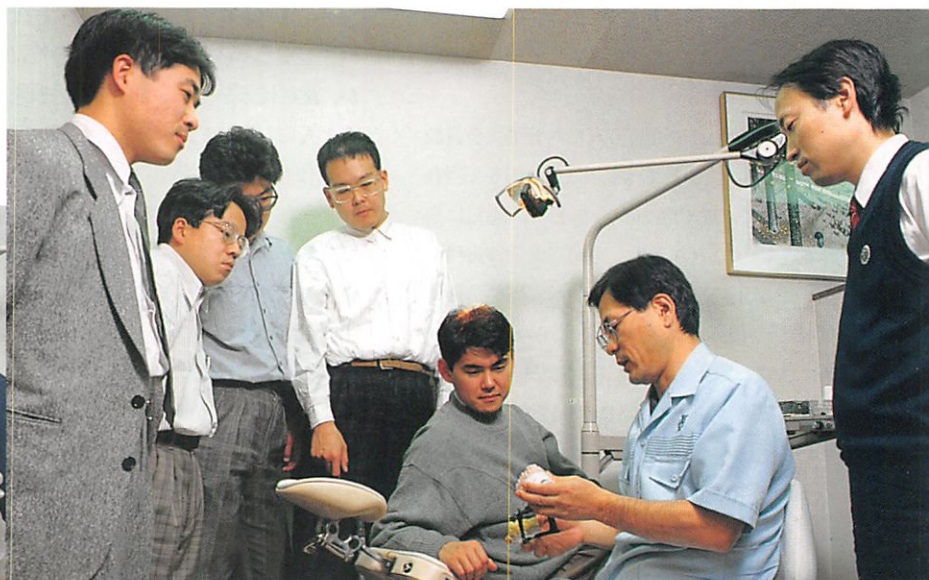
中岡：私は昨年3月卒業したばかりです。学
生時代はほとんど臨床の実地経験があり
ませんでしたので、先輩から良い先生が
勉強会を開いているから行かないかと勧
められ、ぜひと思った矢先でしたので、

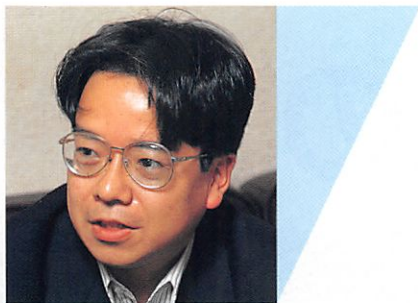
早速来るようになりました。先生は歯科
臨床の基礎を含め、生物全体の広い範囲
まで教えていただけます。土曜日の午後
は遊びたいと思うこともありますが、来
れば仲間もいて色々面白い話が聞けて
楽しいです。



山本：私の勤務している医院の院長と牛島先
生が友人で、5人位集まれば勉強会を開
いていただけると云われ、早速メンバ
ーを集めました。大学時代は、国家試験さ
え通れば歯科での知識はほぼ100%と思
っていましたが、あれはほんの何%にし
かあたらぬのが今わかって来ました。
相手(患者)やまた治す歯によって診断方
法や治療内容が全く違いますし、臨機応
変の難しさ。その辺を含めて、この勉強
会で総合的に教わりたいと思っていま
す。一つのことわかってても、まだまだ
奥がありますので…難しいですね。

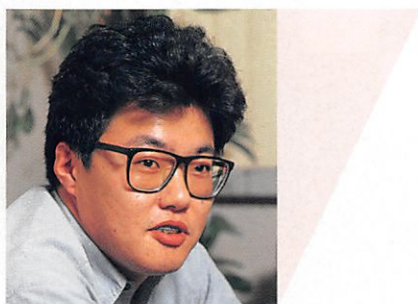
志賀：私も院長が牛島先生の後輩にあたるこ
とから、その勧めでこの会に入りました。
和気藹々(あいあい)でできるのと、どん
な質問でも納得できるまで教えていただ
けるのでありがたいです。エンドなどは
ここで教わるのが役立っております。





勤務先は土曜日も開院しておりますが、院長も理解してくれています。開業は6～7年先を、と考えております。もちろんその時は自信をもって開業しようと思っております。

菊井：私は大阪市内で勤務医をしまして、入局後2年になります。1年間ひと通りの経験をしましたが、果してこれで



充分なのか、と。違う治療法も見たい、もっと実力を高めたいと、この会に入りました。開業迄を約4年と考えておりますが、その時点までに、どこまで自分に実力がついてるか。開業後は地域に溶け込んだ歯科医として、患者さんから信頼と安心感を得られるようになるた

めに、この土曜日デートもせず、この会に出席しています。

中西：私は卒後6年、現在開業中です。1日30人位の患者さんを診ておりますが、



や、マンネリ化になっているようで…。声をかけて頂き、いっしょに勉強しておりますが、テクニックはもとより患者さんとの接し方まで広く教えてもらえますので、この会は私にとって良い刺激になります。開業後も勉強はむろん大切ですが、それよりも私は、仕事を楽しくやっていくこと。それが長くやっていけることの秘訣だと思っております。この会他に講演会や勉強会にも行きますが、この会はユニークで楽しい会ですよ。

片岡：私は卒業後大学の口腔外科に3年、勤務医として4年経験後、父のもとに帰りました。牛島先生には補綴とエンドの勉強を主に教わっております。この会では皆さんの話を聞いておりますが、皆さん熱心ですね。今は歯科医療界全体が冬の時代を迎えておりますが、将来を信じて今の内にじっくり勉強を、と考えてお



ります。

山本：本当のことを云うと、いまポストグラジュエイトコース等では高額な会費を必要とし、いくら出席をしたくてもそれだけのお金もなく…。それ等により出席できる収入になった時期には、ある程度自分流の診療方針になってしまっているのが現状です。

Q：グループとしての将来は？

牛島：私はこの会をいつまで、どんな勉強を、とは考えていないんです。若い先生方がついてくる間と私か時間を作ることが出来るまで続けていけたら、と思っております。一応時間も原則として土曜日の2時～6時となっているんですが、時には実習などは流れがありますので、切るわけにもいかず夜中までやることもあるんです。若いから遊びたいだろうし、デートもしたいでしょうが、熱心さにこちらが押されて(笑)。先は長いし、生涯勉強が必要な職業ですから、あせらずボツボツと、そう考えております。とにかく私の方針は「免許を持ったニセ医者になるな！」ということです。

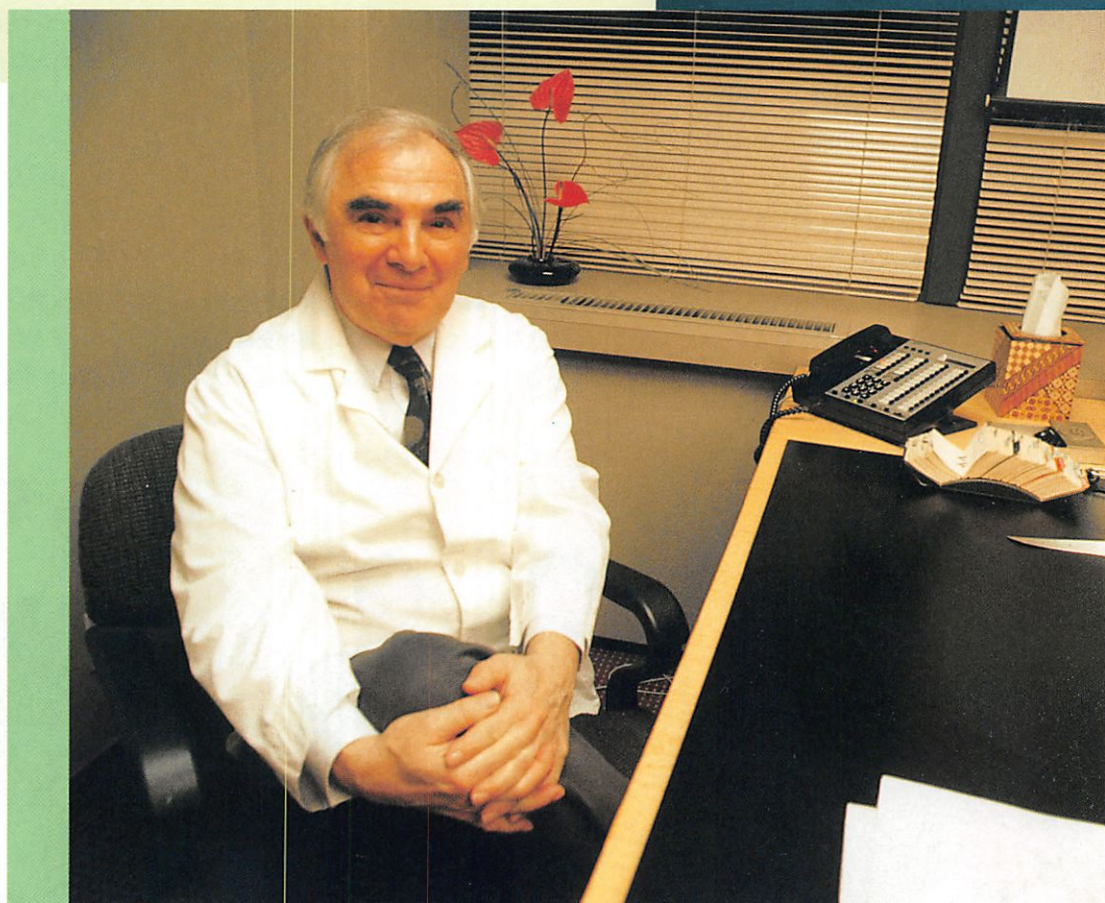


アメリカ歯科審美の 現状と実際

American Society for Dental
Aesthetics (ASDA) 会長。

アーウィン・スマイゲル教授を訪ねて。

Aesthetics Dentistry





はじめに

今アメリカの歯科医療分野で最も急激な伸びを示しているのは、審美歯科といわれる。これ迄コスメティック・デンティストリーと呼ばれていた分野だが、近年エステティックという表現に置き換えられだしていることでも、審美が歯科医療の重要な分野となってきたことを暗示する。コスメティックというと商業的印象が強いが、エステティックという格调が高くなり、アーティストの感が強化される。

アメリカの歯科医療費は年間80億ドルといわれるが、今やその40%が審美歯科医療費だろう。審美歯科の急激な発展を可能としたボンディング(bonding)は、70年初期に開発されたが、今や90%以上の米国歯科医のルーチン治療となっている。

審美歯科は、歯科医のイメージ向上と収入増加に大きく貢献することとなるであろう。衆知の如くこれ迄は、虫歯治療や歯が痛くなって歯科医の門をくぐる例が多く、故に「歯医者は嫌い」という人が絶対的だった。この

人たちの間に存在する歯科医のイメージは、だから「^{リペアマン}修繕屋」といったものだったといっても大げさではあるまい。

それがボンディングの発達と新機材の誕生で、修繕・治療の結果は「見た目にも美しく」という要素が加わってから大きく変ってきた。生まれつき歯列が悪い人や、歯の色が悪い人、タバコ、コーヒー、お茶で歯をいくら磨いても白くならない人が押しかけるようになってきた。アメリカ人は大変な健康指向だから、「若く見える、清潔に見える、美しく見える」は、精神健康上大変重要な要素である。だから審美歯科医を芸術家と見なす人迄誕生し始めている次第だ。

「目は口ほどに物をいう」と、顔面が一番大事な美的要素は「目」という人が多いが、これは文化によって異なるようである。アラブのように、目だけ残して顔全体をベールで包んでしまう習慣の文化圏、日本のように「無言は金」的考え方が根強い文化圏では、多分今でも目が重要視されているようだ。しかし弁論の国アメリカでは、口を開ける頻度が高いせいか、その人の決定的印象は「口から(手

入れのいきとどいた綺麗な歯)」とされている。歯の手入れの悪い人は、不潔感を呼び起し、一般に「性格的に欠陥あり」との無意識の認識につながるようである。

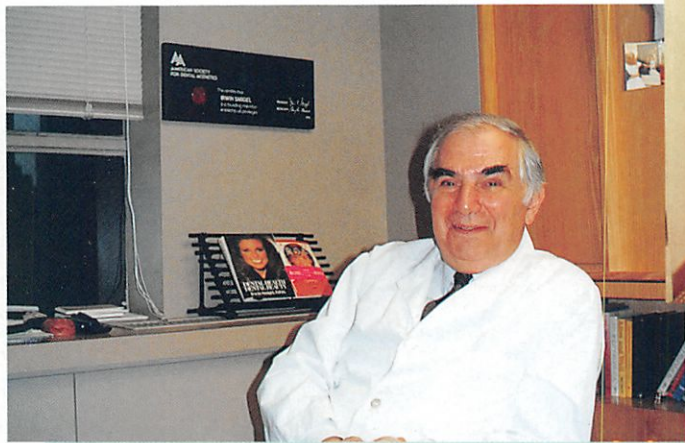
専門家とはいえ歯科医も人間だから、面と向って「歯医者は嫌い」と云われたら良い気はしない。必要とはいえ、ドリルでガーガーやられて、「サンキュー」という患者も少ないであろう。

これが審美歯科の発展で急激に変ってきた。それが歯列であれ色彩であれ、これまで劣等感に悩まされてきた人が、審美治療で見違える程良くなれば、全く「生まれかわった」気分になって、心から「サンキュー・ソウ・マッチ！」と云わずにはいられないのは人情であろう。劣等感でちこんでいた人が、それから開放されてハッピーになるのをまのあたりにすれば、歯科医としても嬉しく誇りやかになるのは人情というものであろう。

そういう意味でも審美歯科は、歯科医に対する世間の認識改善と、患者の生活の質の向上に貢献する新分野といっても大げさではあるまい。

海・外・だ・よ・り

アメリカ歯科審美の現状と実際



Dr. Irwin Smigel とビジネス・マネージャーの奥さん Lucia Smigel さん。



「歯のボンディングの父」アーウィン・スマイゲル医

審美歯科を語る時、ニューヨーク大学歯科審美講座の初代客員教授であるアーウィン・スマイゲル医に触れずして語ることはできない。というのは、彼が今日の審美歯科のきっかけとなったボンディングシステムの発明者で、また、それを世に広めた人だからである。歯科審美講座はアメリカのみならず、世界でも初めてのものである。それで私は彼に会って、話を聞くこととした。

「ボンディングの父」として知られるスマイゲル医(以下S医)は、アメリカン・ソサエティ・フォー・デンタル・アッセティックス(ASDA)の創立者であり、会長でもある。審美歯科学会は他にアメリカン・アカデミー・オブ・エッセティック・デンティストリー(AAED)とアメリカン・アカデミー・オブ・コスメティック・デンティストリー(AACD)が存在するが、AACDは2～3年前に誕生したばかりだ。

S医が会長のASDAは14年前の1977年創立

で、現在メンバーは110人と大きく。資格審査は創立者のS医の品質管理の姿勢を反映しているようで、なかなか厳しい。条件には、少なくとも歯科医として5年の実績があること、審美歯科治療の5ケース・ヒストリーの治療前と後の提出写真などが含まれていて、入会条件に欠け、メンバーになれない歯科医の数も少なくないらしい。

S医は日本で、歯科審美部門の進歩・発展が急速に展開されるであろうことを微塵も疑っていない。彼のこの確信は、彼が2人の日本人を歯科分野で熟知していることからきている。ひとは6年程前にASDAのメンバーに日本人として初めて入会した桑田正博氏。12年前に講演の際に初めて会った時、彼は桑田氏の技工の精密さに深く印象づけられている。もうひとは松尾通氏で、桑田氏の紹介でS医のところまで3週間過ごし、その3週間でそれまで何も予備知識のなかった審美歯科を習得してしまったので、彼の印象も強烈である。

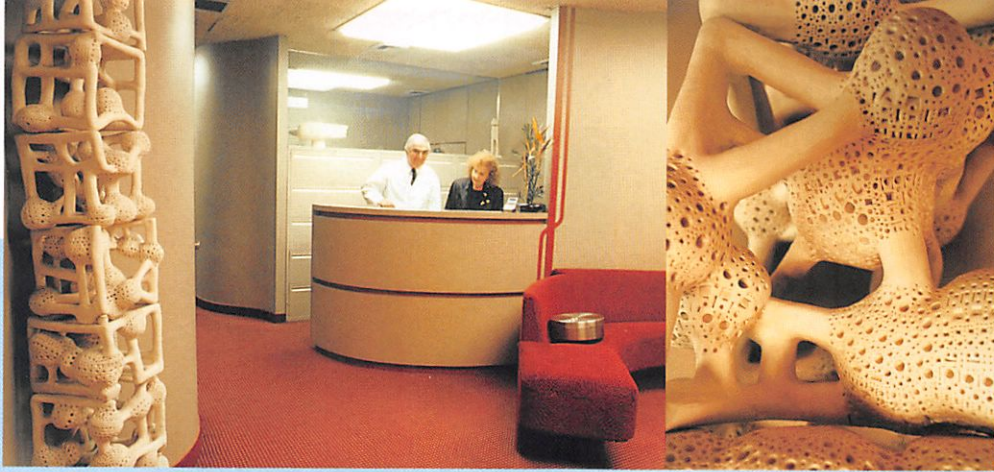
「木の全体像をつかむには、1本の木を熟知すれば判る」思考で、私もその思考に賛成するものである。デッサンに上達しようと思

うなら、あれやこれやの対照すべてに向かうより、何でも良いからひとつ目前に据えて、それが完璧にデッサンできるまでそのひとつに集中してやると、コツが判って不思議と他のデッサンも自然に上手にできるようになるものである。ひと言でいうと、原理が判ると応用問題も解ける、ということである。

S医と話していて、その人柄に感銘した。原理・基礎を重視するということは、取組んでいることに対する全力投球、置きかえていうと、その真剣さを意味し、挫折さえしなければ真の長期型として積み上げた発展と展開をしていくから、ゆるがない確かな成功を入手するのは時間の問題である。私がいう「挫折」の中には、成長または実現過程で認められ、世に出る、または大きな利益につながる可能性の機会が訪れた時は、真剣さが真実でない(または足りない)と、その美味い可能性の方を選んでしまう、も含まれている。美味い可能性は大いに、進んで歓迎すべきだが、取組んでいることの本質をその為少しでも曲げてもいいという気持ちがあれば、それは「途中下車」の行動と思う。

海・外・だ・よ・り

アメリカ歯科審美の現状と実際



リセプション：左手はロシアのアーティスト



この彫刻、穴のひとつひとつがジュエリー・ツールとデンタル・ツールでほられている。



受付からリセプションへ。

「ボンディングの誕生」

S医は、人生の初めに「意図した道草」をやっている。本能的に、自分は何かやり出したらトコトンやる人間、と意識していたからだろう。道草は、進むべき道や方角の確認である。

彼の父上と伯母さんが歯科医だったので、当然暗黙のうちに彼も歯科医になることを期待されていたに違いない。彼は多分漠然と「ライターになりたい」夢を抱いていたようで、大学卒業後、タイプライターに向かうかたわら、大学の夜学で哲学を教えていた。これは食べていく為の収入獲得だったが、「教えることは学ぶこと」の真理の体得となり、「コミュニケーションの歓びとその技術」を学ぶのに役立った。夜間部の生徒は大人の社会人が多い。これは、学ぶということに人一倍の意欲を持った人たちが、更に机上ではなく実社会の体験を持つ人たちを意味する。だからこの人たちとのやりとりは、S医にとって造詣深い体験となったことは間違いない。

彼が何年教壇に立ったかは聞き忘れたが、

この間彼は自分が手を使って働くのが好き、という確証を掴んだので、歯科医になる為ニューヨーク大学歯学部に入學した。

彼が「ボンディング」を発明したのは1970年で、ある意味では「全く偶然だった」と彼はいうが、私はそこに人生で繰り返し見てきた教訓を再見する。これは幸運(機会)は訪れるが、それを掴めるのは「準備出来た人だけ」というまことに簡単な真理である。

彼がいう「偶然の機会」は、彼のワシントンの歯科医の友人(ラファイエル・ボウエン医)がボンディング素材を開発したこと、そして別のロチェスターの友人が歯の表面に素材をくっつけることを可能とするマイルド・アシッド(mild acid)を発見したことで訪れた。

発明のヒントは殆んどが「思いつき」である。引力の理解のきっかけは、木からポタリと落ちたリングだったし、そういう例を挙げ出すときりが無い。無限の人たちが同じ現象を見ていながら、何故ひとりだけ特定の人がそれを「思いつく」のか——には色々な理由が挙げられよう。ひとつには、この人が普段からその原理の存在を感知していて、無意識

にでもその謎を解く努力をしていたこと、または解くことに関心を抱いていたこと——といえよう。次の思考の飛躍も、そういう潜在意識があるからこそ可能なのだと思う。

この2つの発明に偶然ぶつかったS医の平生からの潜在意識は分析するまでもなく明らかである。要求されたから、ではなく、自分に最も適している分野との確信で歯科医療を選んだ人だから、真剣に日々の問題を取り組み、「もっと良い方法はないか?」と終始探求していたことは間違いない。

それでS医に、「この2つを結びつけたら(飛躍的)進歩となる筈だ」との思いつきか閃き、結果的にボンディングの発明となったわけだ。英語でボンドは接合・接着で、ボンディングは接着すること、となる。

衆知のごとく歯のエナメルにはブランク以外はひっつかない。だからそれまで虫歯治療では、そこをドリルでけずり取り、穴を掘って埋めることが必要であった。「けずって埋めるかわりにフィリングを『くっつける』ことが出来たら…」と思った人は少なくなろう。彼の友人が発見したマイルド・アシッドは歯

海・外・だ・よ・り

アメリカ歯科審美の現状と実際



待合室の灰皿は特別デザイン製。



Sam-O-Var(サモバー)：Luciaさんのデザイン



待合室の飾りつ



化粧室

の表面のエナメルに微細なポア (pore) をかもし、プラーク以外のものがくっつく可能性を誕生させたわけである。こうしてコンポジット・レジンとの組合せて、患部接着治療・修復が発達し、歯のドリルの必要が無くなってきた。

しかしコンポジットでも、最初のもはセルフ・キュアリング (Self-curing) といって、混ぜた直後にすぐ固まってしまうので、審美はおろか患部に上手に接着させるにも、すぐれた技術を必要とした。しかし新コンポジットの登場で、状況は一変したといつて良い。

新コンポジットは患部にあてがっても、ウルトラバイオレット・ライト (ultraviolet light) をあてるまで固化活動が始まらないので、手のこんだ治療・修復が自由となった。つまり時間をかけられるようになったわけである。これで驚くほど色々なことが可能となった。たとえばアクリック・ブリッジ (acrylic bridge) が使い古して傷んできたなら、もう以前のように取りはずしてからでなく、そのまま、しかもドリルなしで修繕出来るようになったことなどはそのひとつである。

日本では「ポーセレン・ラミネート・ベニ

ア」と呼ばれているようだが、アメリカでは「ポーセレン・ベニア」とも「ポーセレン・ラミネート」とも呼ばれており、この出現が審美歯科の飛躍的成長を確実なものとしたといえる。

ポーセレンはクラウンの素材として、その色調とテクスチャ (構造、きめ) を殆んど永久的に維持するので理想とされている。またガム (歯ぐき) をいらだたせないばかりか、エナメルより長持ちするといわれる。更に従来のポーセレンより倍以上強じんな「アルミナス・ポーセレン」という新素材も誕生しているから、色や臭いを吸収しがちなアクリック (プラスチック) ・ベニアはもう過去のものとなっている。

キャップ (クラウンまたはジャケット) はその人の外観を驚くほど良くする審美歯科手段として知られる。歯がかけたり、虫歯がひどかったり、歯の色彩、形、サイズ、歯間の空間といった外観向上をはかる修正の時、重要な役割を果たしてきた。

歯科医にとってもキャッピングは良い収入源であった。しかしキャップする歯を2/3のサイズにけずってしまうことが必要であつ

た。それがボンディングの発明で、けずり取ることが不必要となったばかりか、経費も安くなってしまったわけである。

「ボンディング」が紹介された時

ボンディング開発後4年間、S 医はテストをしたという。そして確証のあげく、ボンディングについての講演を開始した。歯科医たちから苦情の電話がかかってきたそうである。それまで歯のサイズ、色、形、歯間の隙間の矯正の殆んど唯一の手段はキャッピングで、彼等にとって良い収入源だったものを、「歯をけずらず、もっと容易で、もっと安上りで」出来る新手段の発表・説明だからである。

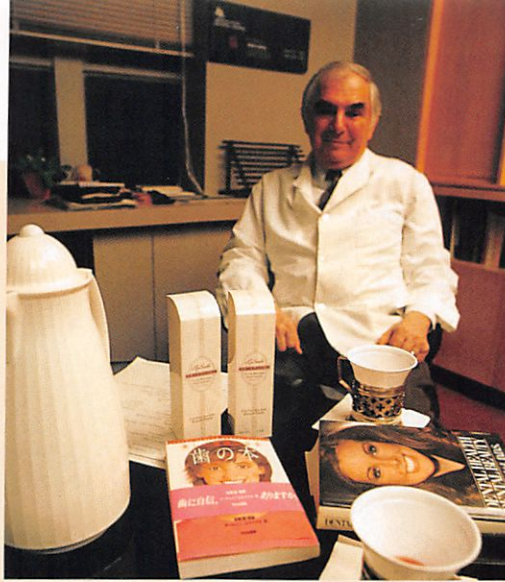
その中テレビ番組の「That's Incredible」 (信じ難いこと) から取材申し込みとなったが、驚くべきことにS 医はこれを断っている。その理由は、「変に取り上げられて、この発明に対する認識のクオリティが落ちては」だ。革命的ニュースと嗅ぎつけたテレビ側もねばりにねばって「3週間、毎日の取材申し込みでした」とS 夫人のルシアさんは今でもその驚きをかくさない。彼女はこのクリニックのオフィス&ビジネス・マネージャーとし

海・外・だ・よ・り

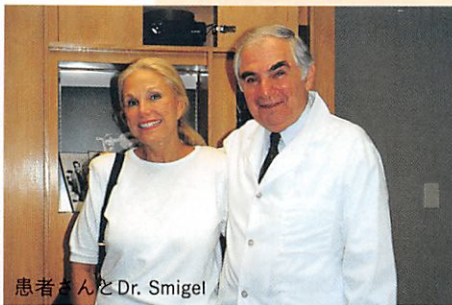
アメリカ歯科審美の現状と実際



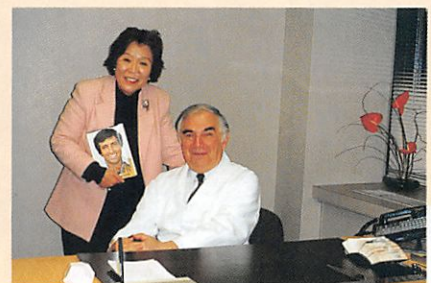
Dr. Smigelのオフィスでの
デモンストレーション



新しく開発した "Epi Smile"
(新ハミガキ)と彼の本の和訳。



患者さんとDr. Smigel



て、経理全般の責任者である。初対面の瞬間に、溢れるクリエイティブの才能が伝わってくる人だ。

揚句の果てに「S医の希望・指示に従って取材する」との宣誓となり、早速「15人のテレビ・クルーが乗り込んできました。そして、何と朝の8時から翌朝夜半の午前2時まで、ぶっ続けの取材となりました」とルシアさん。彼女の表情から取材当日の火事場さながらの大騒ぎが目に見えるようである。しかしこれらの大騒ぎは、実はまた序の口だった、ということが判明するのに時間はかからなかった。

この人気番組でボンディングの実演を見た3,000万人の聴視者が、翌日歯科医達に連絡のため電話に殺到したからである。勿論スマイゲル・クリニックのあらゆる電話は鳴りっぱなしとなり、次いで毎日、ポスト・オフィスから大きなズックの袋に入った郵便が山とかつぎ込まれることとなった。

「それらを開封するためだけでも、それ専用の人手を雇わねばなりませんでした…!」

それまでS医の講演の話を聞いても本気にしなかった歯科医たち、不勉強でボンディングの何かも知らなかった歯科医たちにとって

も、大変なことになったのは云うまでもない。ボンディングで「歯の隙間を埋めてほしい」、「生まれつき黒ずんでいる歯を白くしてほしい」、「曲った歯を……」、「形とサイズを……」の要求が殺到したからである。

「S医のテレビの実演は、歯科医療を実に15年も進歩させた」といわれる所以である。

歯は肉体の一部なので、体同様年をとる。その象徴は、歯が短くなる、角がフラットになる、そして黄色くなる……と具体的である。ボンディングで角をふっくらとしたり、歯を長くしたりすると、若返ってみえる。また女性であるのに生まれつき男性的歯(巾が広く角ばっていてフラット)であったり、その逆の男性で女性的歯(巾が狭く端がゆるやかにカーブしている)も、本人の希望に添って修正、または「ルック・ライク(見せかける)」ことが可能となった。

「患者に相談された時は、歯だけでなく、顔全体、特にそのシンメトリーに注意して検討することが大事」とS医は云う。歯と顔の(特に下半分)筋肉は密接な関係にあるから、ボンディングで歯のアンバランスその他を矯正・改善すると、ノーマルなサポートを筋肉

に与えることとなり、それに依って筋肉はノーマルに機能することになるので、結果的に表情も良くなるとS医は云う。

また、患者の良き聞き手であることが審美歯科では特に重要と彼は指摘する。患者の実際の言葉より、患者の云わんとする意味を聞きとることである。「美」の観念はその人に依って違うので、患者が心に描く「美・魅力」を理解するには、耳をすますのが最も効果的手段、ということである。

漂白も審美歯科の重要技術で、S医は8年前に「スーパー・スマイル」(現在名はエピ・スマイル)という歯が白くなる歯みがきを開発。近々日本にも登場する予定である。私もおみやげに頂いて、早速愛用しているが、確かに歯科医にクリーニングして貰ったようにキレイになるのが分る。彼の歯科医療への貢献に感謝するところである。

★ ★ ★

筆者紹介

岩本蘭子

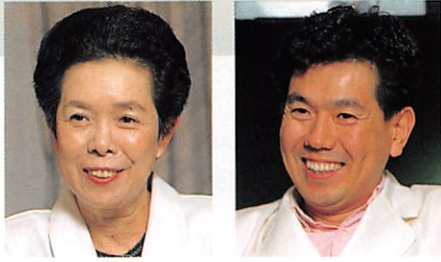
ボストン大学大学院ジャーナリズム科卒業
ランコインターナショナル社長

海・外・だ・よ・り

アメリカ歯科審美の現状と実際

DENTAL SPACE

ドアを開けた患者さんが緊張しないで
 入ってこられる歯科医院をと。
 暖かい雰囲気づくりを心掛けました。



門脇 歯科 医院

山形県新庄市若葉町17-17

院長 門脇 慧子

副院長 門脇 正明



設計・施工：鹿野建築設計事務所

開業：昭和27年(改築・平成2年4月)

スペース：249,73㎡(約75.5坪)

ユニット：スマイリー<GM>3台、他1台

診療時間：8:30~11:00、13:00~16:00

16:30~18:00

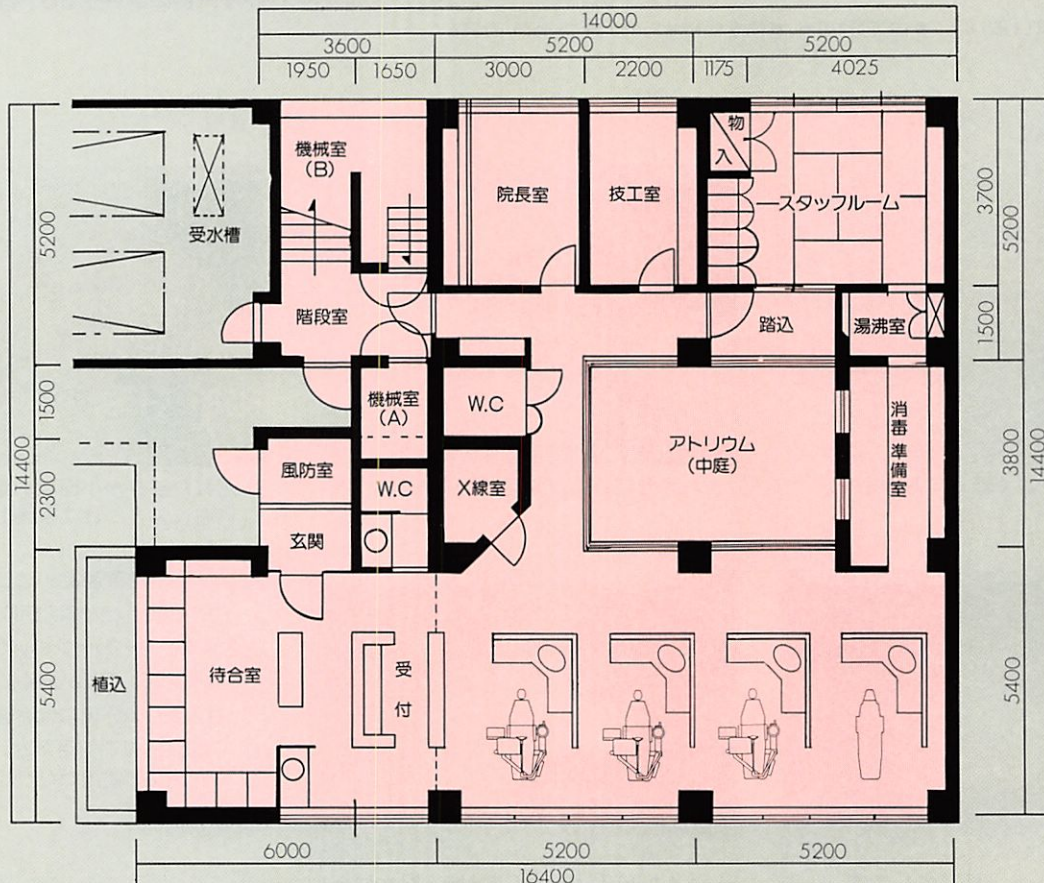
土曜日 8:30~11:00

(休日) 日曜日、祝日

スタッフ構成：歯科医師2名、看護婦1名、

助手4名、受付1名、技工士1名

患者数：1日約80~100名



奥羽本線・新庄駅から駅前アーケードを6～7分。左に折れて2～3分の住宅街に建つ門脇歯科医院。正面左側は、2～3階と続く全面吹き抜けの素通しガラス。夜、明りが点れば、とかく暗くなりがちな雪国に暮らす住民にとって、ホッとする雰囲気を与えることであろう。

7～8台は駐車可能な前面駐車場脇を通過して玄関へ。下駄箱もおそらく長靴利用者の為であろう、最下段は高めに作られている。都会地でも近頃はブーツを履く女性が多いことから、下駄箱の一角をそれ専用が高めに作っておけば、踏まれたり汚れたりしないで済み、喜んでもらえることだろう。

待合室は薄いアズキ色の床。雪国らしく全面床暖房。窓に沿ってL型に淡いピンクの待合用椅子が置かれている。また、中央には嵌



め込みテレビと口腔清掃用具一式を入れたキャビネットが。こうすれば、とかくゴタゴタしがちな受付台もスッキリし利用範囲も広がる。

診察室は奥面まで真っすぐな通路。窓側に沿って木目の半セパレート式の間仕切りが並び、中には専用キャビネットと共にスマイリー〈GM〉が設置されている。また、通路の片面は3階まで吹き抜けのアトリウム。ガラスを通し明るい日射しがふりそそいで、白いデッキチェアと観葉植物が、来院者の心をなごませる。都会地では考えられない、ちょっと贅沢であるが、見事な設計である。

院長は昭和24年日本女子歯科医専を卒業。27年にご実家のある当地にもどり、両親、ご兄弟が運営される総合病院の一角で開業。ちなみに院長のご兄弟のほとんどは医者で、俳優ケーシー高峰さんは父方の従兄弟にあられるとか。昭和32年現在地に移転。昨年4月、ご子息正明氏が勤務医からもどることを機に全面改築された。

いかにも女医さんらしいキリッとした印象の院長。明るい笑顔と言葉で、爽やかな印象の副院長。そうしたお2人に影響されるので

あろう。技士さんを含めたスタッフ一同も、雪国育ちらしくなく(?)人なつっこい印象でホッとする雰囲気だ。

Q：親子での診療生活、うまくいっておりますか？

院長：最初は診療方針も違うし、私は総てが昔風だし、喧嘩にならないかなー、と心配しましたが、お陰様で明るい息子の性格から、2人の云い合いを患者さんが喜んで聞いているんですよ(笑)。

副院長：初めの頃は、おふくろはこんな治療をしているのか、と驚き、自分なりの診療をどんどん進めたが、文句も云わず、近頃はおふくろもだいぶ力をつけてきました(笑)。でも父親だったら、とてもこうはいかないし、おそらくいっしょには出来なかったでしょうね。

院長：私がおだてながら、やさしく包み込んでいるからでしょ(笑)。

Q：院長先生、歩まれた人生は？

院長：卒後、東京で勤務医生活をしましたが、当時は衛生士もいず、雑用をしながら、先生のやり方を見て憶えることでした。当時



は技工も自分でやりましたが、果して自分で開業できるのか不安でした。結婚後は3人の子供を実家で面倒をみてもらったりして育てつつの治療。大変でしたが、いまふり返れば良い思い出ですね。でも診療は…現在息子から盗めるものは全部取ろうと全力投球ですよ(笑)。

Q：副院長先生、そんなお母様を見ていてどうですか？

副院長：女だからかな、楽な診療をしているというのか、無理な治療——例えばオペなどは絶対しないですよ。でも患者さんの扱いは抜群。やはり30年以上のキャリアにはかなわないナ、と思っています。

院長：女性ですから確かに無理はしないですね。ただ、精神面での治療——例えば子供の場合でも、本人が怖ければ決して無理をしないで、1回の治療を3回位にわけてやりますと、最後は喜んで来るようになるんですよ。

Q：素晴らしい診療所ですね。将来はどんな方針で？

副院長：この辺は豪雪地帯ですので、ほとんど近所の歯科医院は2階に診療室を設けていますが、私は車椅子使用者やストレッチ



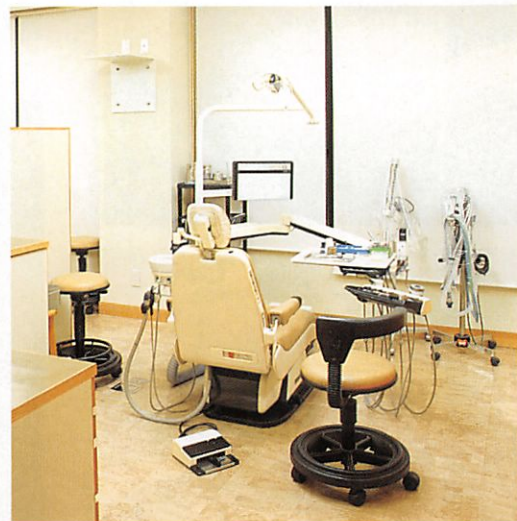
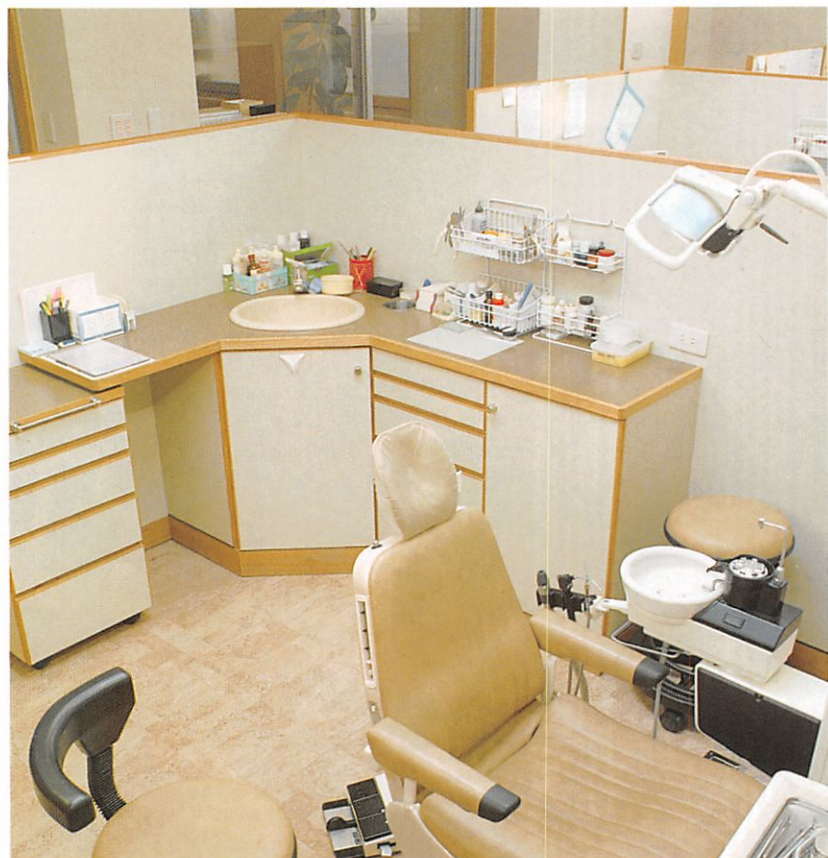
ャーも入れる診療所でありたいと1階にしました。また、補綴が専門分野ですから、土曜の午後や昼間の休み時間を利用して寝たきり老人の往診にも出て行きます。これからの社会では、歯科医師も積極的に外部と接する時間を持たなければいけないと思っています。

院長：私はもう63才ですから、このままの状態で一生懸命自分の道を歩もうと思ってるだけです。昔は雪国がいやでいやで…(笑)。息子も帰ってこないで、東京でやってくれ

ればと思っていましたよ。だって東京にいる友達は気軽に海外だ、パーティだと出掛けられるんですけどもの(笑)。でも働くことは大好きですねー。

Q：診療室を作られるにあたって、ご留意された点は？

副院長：友人に設計士がおりますので、総てまかせました。外観は、白はさけたいが清潔なイメージは欲しいと銀色にしました。内部は間仕切りを入れることと、暖かい雰囲気づくり。ドアを開けた患者さんが緊



張しないで入ってこれる医院でありたいと…。あとは笑気麻酔を使うから配管設備をしっかりと。優秀な設計士さんだったので良かったですよ。

院長：初めはアトリウムの空間はちょっともったいない、と思いましたが、手術後の患者さんに利用してもらったりして、今では作って良かったと思っています。

Q：スタッフ教育については？

副院長：皆さんよくやってくれていますが、今いる方達はおふくろのスタッフ。これからは私が教育していこうと思っています。技工士も私は内部の技工士に作ってもらいますが、おふくろは昔から依頼している外部の技工士が良いと。この方達も親子なんです。

Q：この辺もやはり保険による診療が多いのですか？

院長：え、ほとんど保険です。一般診療では1本だけでも前歯にサンプラや金を入れて欲しい、という患者が老人に結構多いんですよ。でも息子は絶対にイヤだと云うんです。

副院長：でも近頃は…。この辺ではワラを扱うのですが、その場合、前歯で噛んで作業

するのですが、金だと減りは少ないし、欠けにくいらしいですよ。初めは今どきそんなものを前歯に入れて、と思いましたが…。少しづつわかってきました(笑)。

Q：スマイリー〈GM〉、お選び下さいました何が何故？

副院長：大学時代3社を使いましたが、オサダが一番使いやすかったし、アフターケアも良かったからです。〈GM〉は今は別段不満はないんですが、私が買う時、今のファインは布をかぶせられていたんですよ。これではわかりませんよ(笑)。

院長：3台のユニットを2人で取り合いなんです(笑)。でもあと1台、他のユニットが残っているんだから、いずれそのファインにとり変えれば…？。

Q：全国におられる友人、知人に何かメッセージを。

院長：同級生のうち、いまは専業主婦でやめられた方もいますが、大部分の方は頑張っておられるようです。私も、今後も皆さんに負けないよう頑張ってお参りたいと思いますからよろしくね。

副院長：鶴見大学で花村教室に学んだ人達が集まり、今年「花村会」を発足することに

なりました。第一回はOB共々医局旅行をしますが、OBの先生方は万全を期して参集していただきたいと思います。会える日をたのしみにしています。

〈設計・施工をするにあたって〉

雪は建物の形を否応なく決定してしまう要因ともなる。北国の建築はえてして無口だ。北欧の建築家アアルトの作品も外見は無口だが、その内部は自然の豊かさに溢れている。建飾に満ちた形態の遊戯とは無縁だ。

さて、この建物は1階に診療所、2、3階に住居を配し、全体としては12畳大のアトリウムを囲む口の字型となっている。このアトリウムはこの建物にとっての泉だ。多い時には1階の高さを埋め尽くすこともある豪雪のこの町で、透き通ったガラスの屋根を持つ無雪の広場は子供の頃の夢だった。この中心にある天空からの光は、冬の暗さを喜びに変える。もともと雪が嫌いな訳じゃない。自分の子供に「真冬」と名付けようとした位である。

鹿野建築設計 鹿野敏彦



DENTAL SPACE

一生懸命治療するドクターの姿を
患者さんに見て頂こうと、
間仕切りは外しました。



城戸 歯科医院

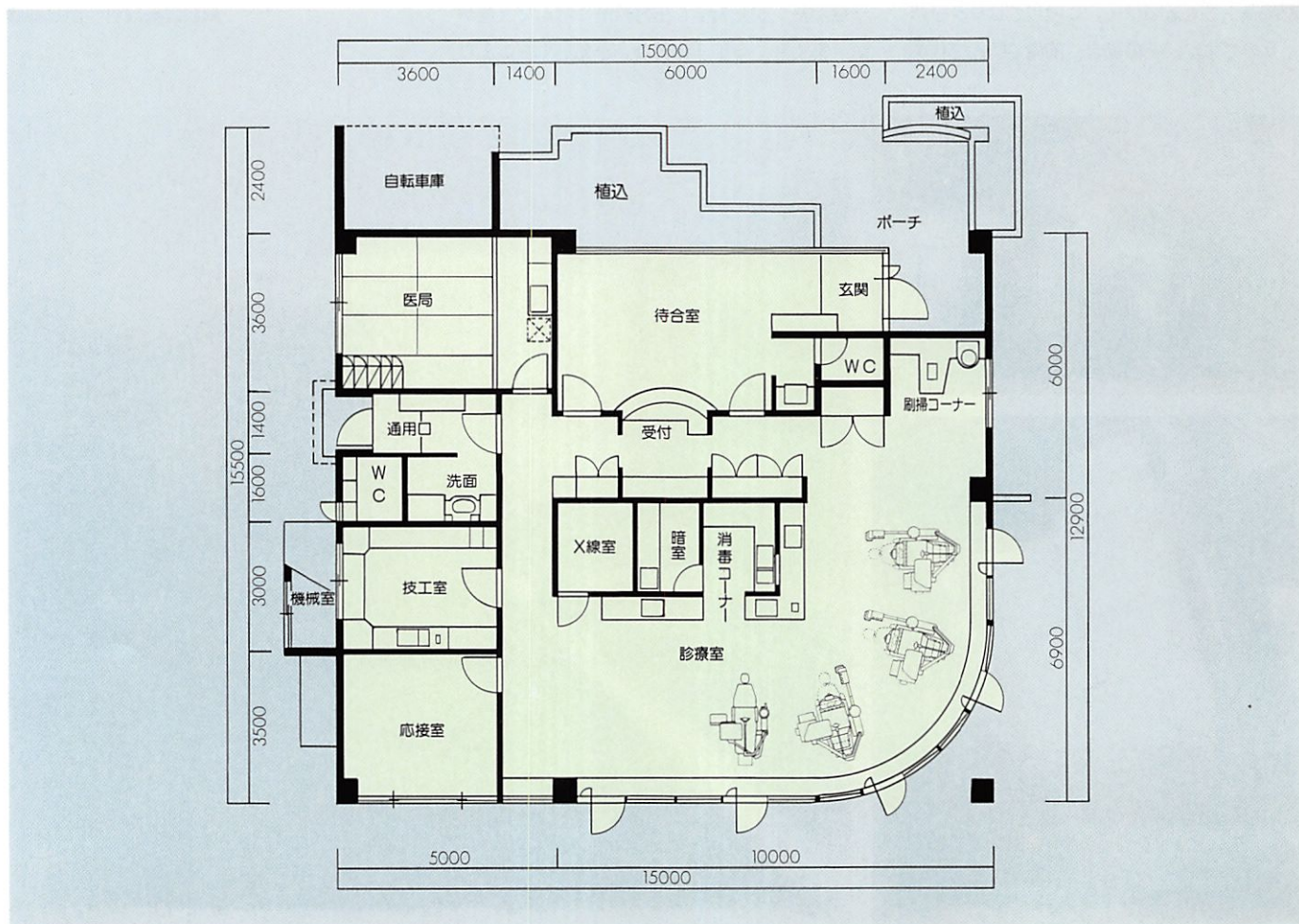
福井県坂井郡春江町随応寺21

院長 城戸 雅和 副院長 城戸 清美(旧姓・横山)



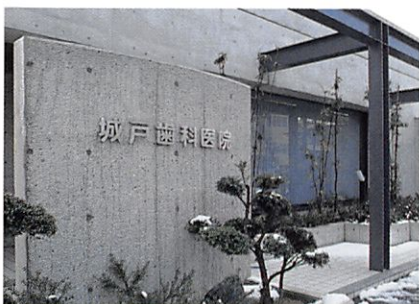
小松空港より海岸線に沿って風光明媚な北陸自動車道をおよそ45分。丸岡I.Cで降り約15分、と東京から行く者にとっては長い道のりであるが、北陸本線を利用すれば福井駅から車で20分強。春江駅からは徒歩でたったの5～6分である。この辺りも車社会が発達すると共に近年急速に発展したのであろう。新しい外観のショッピングストアやレストラン、オートショップ等が建ち並び郊外住宅地を形成している。

ご紹介の城戸歯科医院も周囲の環境どお



り、広い道路に面した敷地をゆったり使った明るいイメージの歯科医院。建物外壁は打ちっぱなしのコンクリート。玄関アプローチは黒の鉄骨を井桁に組んだアクセサリを。強さの中にもモダンさと柔らかさを演出している。

待合室はグレーの簡易ジュータンに8人程度座れる薄紫のソファが。中央にアール状の受付を設置し、現在は片方は閉ざされているが、両面から診療室に入れるよう作られている。受付後方のカルテ棚は、オープン中は開かれているが、休憩時間や閉院時には、ロール式カーテンが降り、表面は風景画に変わる。ちょっとしたアイデアであるが、ズラリと並んだカルテの病院臭がいち時的にも消え、医院



の雰囲気づくりに役立っている。

診療室は受付後方の一角にレントゲン室や消毒コーナーを独立させ、曲線に作られた窓に沿ってスマイリー〈ファインL型〉が3台、N型1台が並んでいる。室内設計は通常角型にするところが多いが、費用の点は詳しくはわからないが、曲線を採用入れることによって、動線がスムーズになるだけでなく、デッドスペースもなくなる。ゆったり広々、回りには建物もなく明るい室内で働きやすそうだ。院長のお話しによるとユニット両サイドは将来に備えて7台のユニットが設置できるようスペースを確保してあるとのこと。恵まれている。

院長は東京医科歯科大学を卒業後大学病院で研修医を1年半。その後神奈川で勤務医を2年経験。昨年9月故郷である当地にもどり開業。また副院長であられる奥様も医科歯科大の同期生。卒後はやはり研修医として1年。更に専門である矯正の勉強を2年半された後、ご主人共々福井へ。が開業まもなく出産(12月)。6週間程の休暇を取り、最近復帰さ

れたばかり。歯切れよくキビキビとした言動の院長。それを傍から支える副院長の奥様。お2人の呼吸もピッタリ合ったオシドリ歯科医院。スタッフ共々患者さんには好印象で受け入れられる歯科医院であることは間違いなさそうだ。

Q：開業半年余り、運営の方は順調ですか？

院長：え、お陰様で。1日およそ30~40人来院されますし、初診の方も月120人位来られます。両親も此処ですの、地元の良い利もありますし、開業場所も良かったのではないかと感じております。

Q：勤務医時代と比べ、治療内容に変化はありますか？

院長：やはり自分の医院ですので、材料や人数などに制限されませんから…。とにかく良いと思った材料や治療方法など、ある程度採算を度外視しても取り入れるようにしています。今は始めたばかりですので、地道に一步一步、本当に良い治療だけを、と心掛けております。



Q：患者さんの歯に対する認識度はいかがですか？

院長：都会に比べると少し低いですね。C₄状態の歯が24本あった患者もいましたし、どうやって食事しているのかと思える患者さんも多いです。また、入れ歯は型をとるとすぐ次回完成と思っている人が多いのには困ります。時には型をとってなくても完成していると思っている人もいますしね…(笑)。

Q：この辺りも歯科医師過剰ですか？

院長：この町内で5軒です。多いです。こんなこと言ったら東京の友人に怒られますけど…。でも必ず月に一度は集会を開いてコミュニケーションをとっています。こういうことが共に長く歯科医としてやっていくには大切ですね。

Q：診療室を作るにあたって留意された点は？

院長：この辺りから出来るのですが、開院時はなるべく大きくて、きれいな診療所というイメージが大切と思い作りました。もちろんその後は腕ですが(笑)。鉄筋の打ちっぱなしは、タイル貼りより安



いから(笑)。また外装は後でも自由に変えられるし、初めは冷たいイメージかな、と思いましたが…。それを内部のインテリアや色で補いました。たゞ、駐車場が来院者用に6台しか確保できなくて…。その為、待たせない診療を心掛けております。また、最初はセパレート方式にしようか、とも思ったのですが、隣りに座られた患者さんに、一生懸命治療しているドクターの姿を、例えば麻醉ひとつを

取っても、痛くないテクニックを持っているナ、と思わせた方が良くと思い、区切りはなくなりました。一種のパフォーマンスですが…。もちろんその逆もあり得るわけですが…。

Q：ご夫婦で診療を。そのメリットとデメリットについては？

院長：私は2人でやっておりますも、患者数は自分1人で出来る範囲の数しか取りません。しかし時として治療が長引いた



り、急患が入ったりで、計画通りには行きません。そのズレた分を妻が担当することにしております。デメリット？ 全くありませんね(笑)。

副院長：メリットは今度のように子供が生まれても、出産、育児等の時間配分もわりと自由になることですね。デメリットは、こき使われたり、ちょっとしたことでもキツク云われることかしら(笑)。

院長：いえいえ(笑)。彼女は子供その他で疲れますから、その点を考え患者を入れないようにしているんです。今後は、やはり患者さんにも男と女、どちらに治して貰いたいかが好みが出て来ると思うんですよ。彼女は矯正が専門ですから、それを活かして子供さんを中心に、と考えております。

Q：将来は？

院長：先に云いましたように、この辺では咬合破壊までいった人が多いものですから、どこから手をつけようかと悩むケースが多いです。そうした方々に咬合の大切さ——ひいては自身の健康を保つ話までして、歯に対する認識度を引き上げ

ることをまず、と思っているんです。地道な診療により、治療後、良かった、といわれる歯科医に、と思っております。

Q：オサダのスマイリー〈ファイン〉いかがですか？

院長：大学時代に3社使いましたが…、中でもオサダが一番使いやすかったし、故障率が最も少なかった。でも開業にあたってはデザインの面から他社を考えていたんですよ。しかしこのファインを見たら…、かなりよく考えて作られていますね。妻が本格的に矯正を始め、衛生士が活動し、そして勤務医と私。将来は7台が必要と考えているんです。

Q：最後に友人、知人にメッセージを。

院長：そろそろ皆さん開業する頃でしょうが、開業したら大変だぞ！ 人数に流されず、質を落とさず、頑張っております。身体に気をつけて下さい。

副院長：矯正科の皆さん、お元気ですか。こちらに来てから歯並びの大切さを患者さんに訴えることに苦勞しています。お互いに頑張りましょう。

歯科医院の新築・改築・増築から、医院経営まで、すべてわかる。



歯科医院

定価10,300円
(本体10,000円)

開業ガイド

- 〈主な項目〉
- 歯科医院のセクション別実例
 - 歯科医院のレイアウトチェックリストと基本事項
 - 歯科医院のレイアウト実例
 - これから開業される先生方へ——オサダからのアドバイス
- 〈別冊付録〉
- 設備機械、器具、材料リスト



歯科医院

定価6,180円
(本体6,000円)

経営マニュアル

- 〈主な項目〉
- 開業準備の留意点
 - 開業準備計画書／開業収支・資金計画書
 - 歯科医の節税戦略(青色申告)
 - 特別経費・専従者給与・みなし法人・損益通算・特別償却
 - MS法人・医療法人
 - 財テク・税テク 他

※御希望の方は下記迄、御連絡下さい。

長田電機工業株/顧客センター
〒141 東京都品川区西五反田5-17-5
☎03(3492)7651代

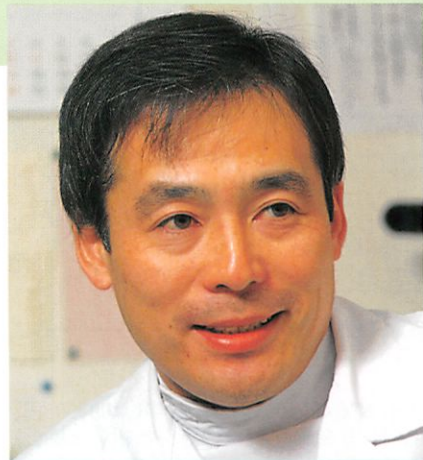


トピックス

ストレス解消にトライアスロン!
このVサインをご覧ください。

近藤歯科医院

岡山県玉野市西田井地2060-3



院長 近藤信太郎

岡山市街から東方に向かって車でおよそ30分強。児島半島の山合にさしかると、周囲は切り立った絶壁や奇岩・奇石が、いまも落下しそうな形でむき出す風景に変わる。坂上田村麻呂が鬼退治後、金の甲を埋めたと伝えられる半島のほぼ中心地にある「金甲山」に登ると、瀬戸の島々が眼前に広がりその眺望は素晴らしいの一言に尽きる。ご紹介の近藤歯科医院はその山峯を抜けた、瀬戸内海に面した静かな海辺の街中にある。

白い2階建の1階は駐車場と内科点滴室、2階部を診療室にあてられている。窓の多い、明るくスッキリとしたイメージを与える歯科医院である。

なお、棟続きには、30年余り内科医であられるお父様が経営される医院が建っている。院長のお話によると、患者さんの症状や処置内容により各種のデータや設備機器等も医院から借りているとのこと。全身疾患の一部として歯科を診る方向へと進んでいる昨今、院長はもとより患者さんにとっても都合の良い立地条件と云えるであろう。



通された院長室。壁、机といったところにご家族、そしてご自慢(?)のトライアスロンの写真が飾られている。

スタッフの女性が休憩中とのことで、気軽に自身でコーヒーを入れて下さる。写真と共に、院長の暖かい人柄が伝わってくる。

遠泳、サイクリング、マラソンと強靱な体力を要することから、鉄人レースとも云われるトライアスロン。どんな動機で始められたのですか? 「いやー、そう云われると困りますよ。私は昨年初めて小豆島で行なわれた第4回『小豆島オリーブ・トライアスロン』に出場しただけなんですから…。実は私は泳げなかったんです(笑)。えっ! すぐ近くが海で、海水浴場もいっぱいあるのに、と思わず聞き返す。「はア、最初は仕事柄ストレスはたまるし、何か運動をと思い立ち、岡山市内にあるヘルスクラブに入りました。ランニング、自転車をやり、次は水泳に挑戦しよう…。2年で1,000m位泳げるようになり、次は時間を短縮させることに挑み、1,500mを30分位で泳げるようになったところで、トライアスロンに出てみよう…。その間、妻が学生時代水泳部にいたことから、コーチ役を引き受けてくれて、ビデオに撮って形を直してくれたり、助言をしてくれたり…。いやー、頑張りましたよ(笑)。仕事でも何でも、何か目標を決めて挑戦していくことは楽しいですよ」。酒もタバコもキツパリ? 「ならいいんですが…(笑)。でもタバコは出場が決ったら、その時からやめますよ。友人と共に出場したんですが、次は『アイアンマンコース』といわれる、

宮古島やハワイで行なわれるA級ロングコース(遠泳3.9キロ、サイクリング180キロ、マラソン42.195キロ)にも出てみよう、と云っているんです。今年36才、写真を比較していただければおわかりでしょうが、体も以前に較べるとグッと引き締まって見える。「え、以前は1年に一度くらい風邪をひいていたんですが、近頃は全く。レースに挑戦するのも楽しいですが、大会当日は島をあげて皆さんが応援してくれるんですよ。そうした方達の暖かさがこちらに伝わってくる、その雰囲気かたまらないんですよ。一度出ると病みつきになりますね(笑)。妻もいっしょに来ていて、その雰囲気に感動したのでしょう。貴方だけが『青春』しているのはズルイ、この次は私も出たいわ、といっています。出場者900人のうち、医者は2人おりましたが、歯科医は1人だけでした。皆さんも、ストレスがたまる仕事柄、ぜひ挑戦してみてください。

岐阜歯科大学(現 朝日大学歯学部)を卒業





後、岡山大学歯学部口腔外科教室に5年勤務。その間講師もされておられたようだ。「開業後7年過ぎましたが、岡大にいたころは歯の治療の研修を怠り、医者領域に深く潜行していましたから、本当のことを云うと、たかが歯1本、開業なんて簡単と思っていたんですよ。しかし開業してみて、その1本〜2本が…。友人、知人に聞き、恥をかきかき勉強しなおして…。やっと近頃歯医者らしくなってきました(笑)。でも一方、今になってみると、岡大での研究、勉強が私自身にどんなに役立っていることか。そう思うことが多いですね」。将来は血糖値測定等簡単な血液一般、生化学検査、EKG(心電図)等導入して高齢化社会に備えて有病者に対するの歯科治療の対応の充実、また全身疾患と顎・口腔とが深い関係にあることを啓蒙、指導していきたい、と云われる。——話題のインプラントについては「以前岡大の恩師と共にシェルシェブの講演を聞きに行きましたが、ブリッジなどの中間欠損では効果もありますが、その他は…。特に下顎の後方がない場合などは難しいですね。また、中間欠損などは無理にインプラン

トをやらなくても、他に変わるものがありますし…。岡大当時、はずした方(手術失敗例)でしたし、それを多く見過ぎたことから、ちょっと消極的になっているかも知れませんが…。でも近頃は材料や施術方法も進歩して来ておりますから、ポチポチとケースを見つけてやっ行ってこうかな、と思っているんです」。医院には岡大の歯学部の医員が非常勤医師として入れ替り3〜4人勉強に来られるという。口ではご謙遜されるが、多くの経験と実力が高く評価されているのは間違いない。「歯科と医科、その双方から患者をみる目を養われましたし、歯・顎・口腔の医師としての心で、診療に専念していきたいですね」。

玉野市は三井造船の企業城下町として発達したところ。が近頃は不況にもなって人口も次第に減っているとのこと。人口8万人弱に現在は40名程の歯科医師が活躍されている

ようだ。「岡大の友人である1期生の方達からもよく相談を受けるんですが、皆さん開業場所がないと悩んでいるようです。私は父の意向で、割とスムーズにこゝでオープンできたんですが、やはり歯科医師過剰問題は深刻ですね。当院に研修にこられる若い先生方も優秀な人が多いですが…。今は厳しいですね。お互い共存できたらと思います」。

歯科医師として、勉強も運動も、また後輩のリーダーとしても相談ごとには積極的に役立とうとする気持ちが伝わってくる。構えたところが全くない、常識をそなえたやさしそうな院長。患者さんにもきつと信頼され、好感をもって迎えられていることだろう。



アシスタント紹介



新田歯科医院

広島市佐伯区楽々園4-13-14

院長 新田栄治

新家 啓恵さん

古川 由香さん

山本登美子さん

広島空港より車でおよそ20分。佐伯区は、以前は佐伯郡五日町と呼ばれたが、数年前広島市に合併された新しい街である。ご紹介の新田歯科医院附近は近郊市部に通うサラリーマンを中心とした住商半々位の通りに面して建っている。半地下形式の1階は駐車場。2階が診療室。3階は住まいにあてられているようだ。窓に面した通りに沿ってパール銀のスマイリー〈GM〉3台が並ぶ、明るい診療室である。

院長は鶴見大学歯学部卒業後、東京医科歯科大学で顎補綴を8年半程勉強。昭和63年7月、実家のあるこ、広島にもどられ開業。開業2週間前まで大学で治療をしていたので、開業のハウツウは全くの素人でした、と笑われるが、スタッフの皆さんの応対も明るく丁寧。やさしそうな院長の印象と共に、患者さんにとっては心なごむ歯科医院であろう。

最初にご紹介するのはこの道7年半の新家さん。島根県立歯科技術専門学校を卒業さ

れ、地元島根で5年間勤務した後、ご主人の転勤に伴いこ、広島市に。自宅近くに当院が開業したことから応募、2年半余となる。衛生士の仕事を長年続けられての感想を「この仕事はやればやる程奥が深い、難しい職業だと思って来ました。初めの頃は技術的な面ばかりにとらわれてきましたが、だんだんと患者さんを含めての私の立場はどうあるべきか、と考えることが多くなりました。日々変化があって面白いんですが、反面相手が変わるだけに難しいことも多いです。家庭と勤めの両立については「主人を含めて医院の皆さんの理解と協力がありますから出来るのだと思います。医院は7時まで開院しているのですが、私は5時に終らせてもらいます。結婚するとすぐやめてしまう人が多い職業ですが、周囲の協力さえ得られればすぐやめない方がいいと思います。でも子供が生まれたら…。近くに誰か世話をしてくれる人がいればいいんですが、預けるのも高いし…。その点は、でもまだですから(笑)」。志された動機は「中学時代、歯が痛くなり通った医院が親切で、それ以来ですね。歯科というものの認識が変わり…。今は一般事務の仕事は考えられないし、衛生士になって本当に良かった、と思っております。子供が生まれ、手がかからなくなったら、また復活したいですね。でも年齢的な制限もあるかしら(笑)…。最近では衛生士の資格を取ったのに他の職業に変わっていかれる方が多いと聞きますが、何故?と思われませんか?「そうですね。今は国内の景気も良いし、大手の会社に

就職すれば給料も良いし、長期休暇も自由だし…。若い方には魅力でしょうね。個人が経営する医院はその点、その対応が難しいですね。でもせっかく取った資格ですから活かして欲しいですね。最初は仕事柄疲れますが、慣れれば苦にはなりませんし、やりがいはずっとある仕事ですから。この仕事が好きでたまらない、と云った様子。やはり当院の雰囲気が良いのであろう。患者さんに対しての要望は?「別に大きな要望はありませんが、たゞ当院は予約制を採っておりますので、時間は守って欲しいですね。1人1人個々の治療をするのですから、時間が狂えば、その方に対しても十分な治療が出来ませんから。ゆっくりと落ち着いて話される。さすがはベテラン。こうした衛生士さんを雇われていれば院長も安心、という印象。

古川さんはこの道2年のフレッシュギャル。学校は先輩新家さんと同窓である。当院に入られたのは「衛生士学校の先生と院長が同じ大学の友人同士でしたので、薦められて就職しました」。学校と実際の違いについて「学校では基礎的なテクニックを教わるだけでしたが、一番の違いは、接する人の問題に最も神経を使うことが多い、ということですね。同じことを云っても、全く相手によって通じ方が違うんです。まだ2年で…疲れるし気を遣うして大変な職業だな、と思いますが、やっぱり体を動かして働くことが好きですから、続けたいと思います」と頼もしいご返事。——職場を変えようかな、と思う動機は?「やっぱり人間関係が良くない場合でし



ようね。色々な人がいますので、思っちゃいけないと思いますが、合わない人がいると、つい…。その点こゝは恵まれています。当院のやりがいについては「最初に指導した患者さんを最後まで責任を持ってやらせてもらえます。刷牙やブラッシング指導等は1日1人〜2人位ですが、良くなっていく過程もわかり、やりがいがあります」。親元を離れてお兄さんとアパート住まいとか。印象通りしっかりした衛生士さんだ。お休みはデート？

「いえいえ、しっかりと主婦みたいな生活です(笑)。掃除、洗濯、買物と…。たまに友達と会って話したり…。衛生士としての将来は？「母親教室などを開いて乳幼児の予防や指導など大切だとは思いますが、緊張すると話の筋立てが出来ないし、絵も下手なんです…。やっぱり無理かしら、と思っているんです。22才では誰れでも同じ。頑張ってください。

山本さんは週2回、受付やその他医院の細々とした仕事を受けもっている。その他の日はお茶とお花の教授が主な仕事といわれるだけあって、しとやかでやさしそうな典型的な大和撫子の印象。「この仕事は毎日違う人に会いますから、私にとっては変化がありすぎて、逆に大変ですね。」と笑われる。「最初の頃は怖かった位でしたが、今はやっと慣れました。毎日多勢の方が来院されますので、名前を覚えることさえも難しく、2年たった今間違えそうになります。」とおっとり話す。とかくイライラしがちな歯科医院にあって、こうした方がおられると…。患者さんにとっても医局員にとっても救いであろう。



院長 新田 栄治

〈院長から一言〉

歯科医院は、技術もちろん大切ですが、来院される患者さんの心をなごませる雰囲気も最重要だと思います。その為自身が他の職業を見て、こんな対応、あんな雰囲気が良いな、と思ったら、なるべく取り入れるよう心がけています。幸い当院は恵まれて、テクニックを含めて良い衛生士さんが来てくれていますので安心です。たゞ2人共、当然ですが、1人は出産、1人は結婚という将来をひかえていますので、その為の下準備というか、考えをもっていなければなりません。今は当界が最も難しい時期に入っていると云われておりますが、私はかえてこんな時期に開業出来たことが良かった、と思っております。高成長時代でしたら、もっと甘く考えてしまうかも知れませんから。

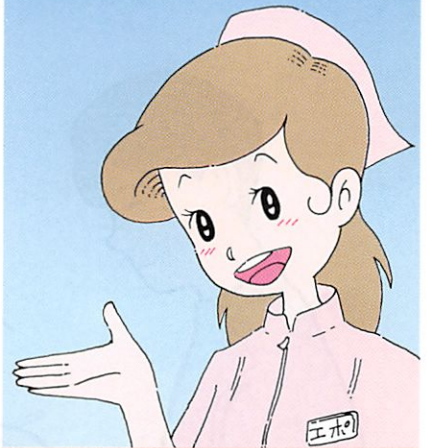
ラッキーなスタートで医局員にも恵まれました。100点は完璧ですから…。でも95点は充分あげられますね。

アシスタント のための 診療室の手引き



定価6,180円
(本体6,000円)

アシスタントとしての心構えから話し方、患者さんへの対応の仕方、会計、消毒、手渡し技術等々をわかりやすく解説。また、簡単な機械のメンテナンスも図付で説明。アシスタントのノウハウを詰め込んだ一冊です。



※御希望の方は下記迄、御連絡下さい。

長田電機工業株/顧客センター
〒141 東京都品川区西五反田5-17-5

☎03(3492)7651(代)

オサダの商品
〈お元気ですか〉

今村歯科医院

北九州市小倉北区京町1-6-29



院長 今村義和

新幹線・小倉駅南口を出て、右手の一角にある商店街のアーケードを5～6分。今村歯科医院はこのど真ん中。ご自身の持ビルで開業25年を迎えるベテラン歯科医師。

1階を美術店に貸し、医院は2階部にある。間口は3間程であるが、奥行きは長い。表通りの窓側から、カウンセリングコーナー、続いて手洗い、ほゞ中央の待合室からX線室そして診療室へ。一方の壁面にそって昨年ご購入いただいたスマイリー〈N〉、5年前のスマイリーUタイプ。そして10年前からご使用下さっているスマイリー〈1100〉タイプのユニット3台が設置されている。各ユニット間は下に長い凹形の間仕切りを使用。ドクターからは3台が一目で見渡せるが、患者さんは水平でも座位でも隣りは全く見えない。壁面と合わせた配色は、スッキリとした印象を与える。

院長は九州歯科大学を卒業後勤務医を半年。再度大学に戻って専門の保存学の研究生生活を送るつもりが、山口の病院からの依頼で、そのまゝ赴任。5年と8ヵ月、公立病院の歯科医長として過ごされた。「いやー、全くひどいもんですよ(笑)。大学に行きましたら、数授から、ちょっと山口の病院まで行ってくれ、と云われましたので、手伝いの為に短期日、と思って気軽に出掛けたら…。着いたら先生の先生が、ちょっと出掛けるから後はよろしく頼む、でしょ。気がついて、だまされた(笑)ですよ。でも長としての訓練もなく、ずい分戸惑い、苦勞もしましたが、良い経験に

なりました」。今では考えられない話ですが、先生のお人柄か、時代がゆったりしていたからか、面白いお話である。

お生れは熊本。幼少時は福岡県南の浮羽郡、更に満州へと移り住み、彼の地で終戦を迎える。帰国後医学部に進むが、叔父にあたる歯科医が、お前は手先が器用だから歯科の方が向いている、と。「もともと医学部はドロップアウトでしたが…(笑)。だが振り返って今思うと、一度しかない人生、細かい仕事が好きな私には向いてたように思えます。負け惜しみかな(笑)」。今では全部降りましたといわれるが、過去15年、小倉歯会、県歯会等の歯科

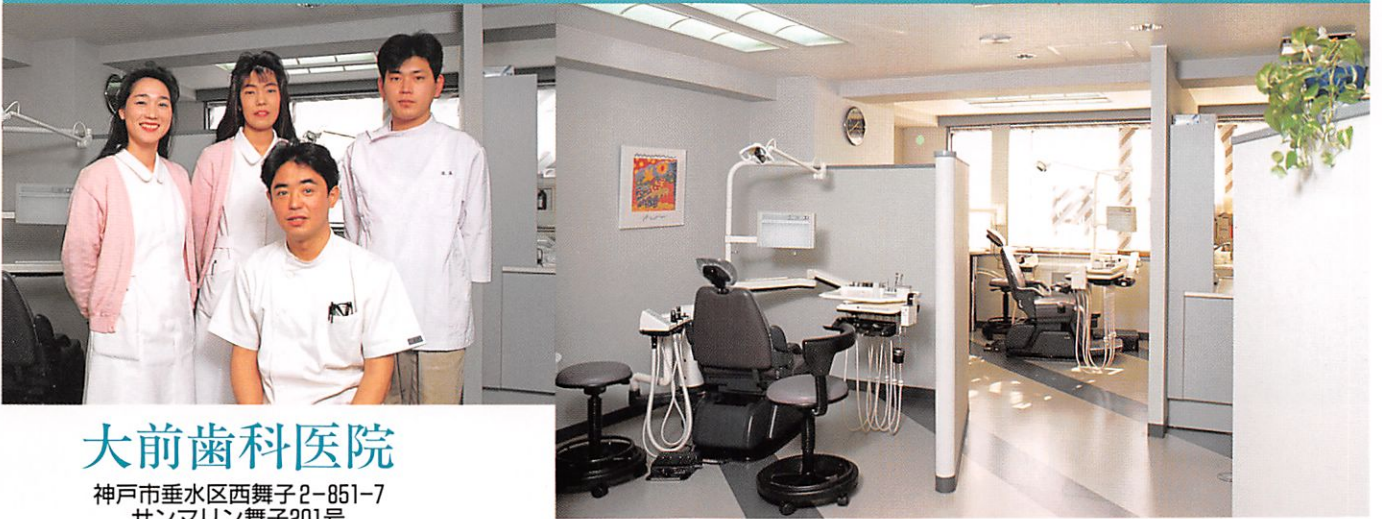
医師会役員として活躍される。「開業当初の10年は夢中で働き、その後15年は会のお世話で。気がついたら還暦一步手前でした(笑)」。ご息も九歯大3年になられたご様子。あとひと踏ん張りだ。「私の場合は病院勤務という道を辿りましたが、大学を出た時は全員が白紙の歯科医。最初にどんな色に染まるか。大学と開業医の2つの道がありますが、私は息子に出来たらその両方を身につけて貰いたいと望んでいます。そして親の頭を踏んづけても良いから、先に先にと進んでほしい。そう願っているんですよ」。

先述したように、診療室には10年前にお買いいただいたスマイリー1100タイプ他オサダのユニットが計3台。どれも新品同様、手入れが行き届いている。「開業当初は他社メーカー2社を入れ替え使っていたんですが、故障してもその対応が全く遅かったんです。じゃあと思ってオサダのユニットを1台入れましたら、アフターの良さが、他と全然違うんですよ。それで今では全部オサダに。立・座位両方で使っていますが、私は補綴は絶対患者椅座位でやります。だって人間食事をする時普通は座位でしょ。微妙な違いは必ず出てきます。私は少しヘソ曲りかな、と笑われるが、こだわりを持って一筋に生きることは、特に歯科医という職業には不可欠なもの、と思う。「毎年オサダの社長から挨拶の手紙がきます。返事は出しておりませんが、こうした企業姿勢、私は好きですね」と結んだ。

開業10年までは他社製品でしたが…。
今では全部オサダのユニットに変えました。
アフターがまるで違うんですよ。



診療室訪問シリーズ



大前歯科医院

神戸市垂水区西舞子2-851-7
サンマリン舞子201号

院長 大前款嗣(岐阜歯科大学卒・29才)

アフターケアが良いことに
カッコが良く、しっかりしたイメージの
スマイリー△ファインL型◇。
印象通りの使いやすさです。



神戸市垂水区舞子町。大前歯科医院はあと数百メートルで明石市となる隣接地の住宅街のテナントビル2階部にある。

診療所内部は広々とまではゆかないが、黒、白、グレーで全体の色をまとめ、各所にダウンライトを使用。若い院長らしく室内のムードを大切につくられている。近年は来院者も、テクニクは当然のこととして、自分の好み、雰囲気にあった医院を選ぶ層が増えてきた。大前歯科医院は、そういった現代人好みの患者さんの意識を先取りした医院といえるであろう。

診療室内部も、室中央からそれぞれ半セパレート形式で3個所に広がっている。都会の成人層の患者心理を良く掴んだ設計である。

院長は岐阜歯科大学(現朝日大学歯学部)を卒業され、勤務医経験後、昨年4月開業。「患者層は、昼間は主婦の方や子供、お年寄りを中心ですが、夕方から夜にかけて勤めから帰られたサラリーマンが多いですね。開業1年、勤務医時代とは違い、診療とスタッフ教育、更には医院経営と初めは戸惑いましたが、やっと近頃は落ち着きました。とにかく今は学んだことを基礎にあせらずキチッと診療を、と思っています」。

◇ 勤務医時代、オサダのアフターケアの良さは知っていましたが、開業にあたってはもちろん各社のユニットを色々調べました。他社製品はカッコが良くても、チャチなイメージが強すぎたりで…。その点このスマイリー△ファイン△は、格好が良く、しっかりした印象が強いし、色も私の好みにピッタリで…。アフターの良さとかッコ良さ。見た途端すぐ決めました。



製造承認番号01日第0296号

スマイリーファイン
SMILY Fine L型

※資料ご希望の方は、商品名、掲載誌名を明記の上、本社顧客センター宛にハガキでご請求下さい。

診療室訪問シリーズ



井田歯科医院

川崎市川崎区砂子1-7-3



院長 井田 潔 (日本歯科大学卒・69才) 副院長 井田満夫 (日本歯科大学卒・40才)



◇

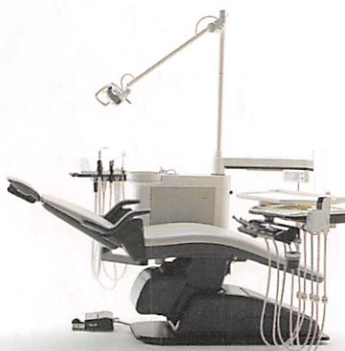
材料も私達が学んだ頃より素晴らしい
進歩を遂げています。目先のお金にこ
だわらず、医療の本質とは、を指し
てほしいですね。

副院長は公務で多忙な院長を助けて
10年余。「父は、社会の為に我々歯科
医師はどうあるべきか? それをいつも
考えているように、生き方は非常に良い勉強になります。」

◇

スマイリー∧ファイン∨、L型は私が、S型は息子が使っております。
オサダの良さは前々から知っておりましたが、機種は2人で決めました。
市保健センター、会館診療所もオサダですが、会員の方達もオサダは良
い、という人が多かったですね。

スマイリー∧ファイン∨、L型は私、
S型は息子が使っております。
市の会員の方達もオサダは良い、
という人が多かったですね。



製造承認番号63B第0810号



製造承認番号01B第0296号

スマイリーファイン
SMILEY Fine S型・L型

※資料ご希望の方は、商品名、掲載誌名を明記の上、
本社顧客センター宛にハガキでご請求下さい。